



Numerics

- 10 ギガビットイーサネット インターフェイス
 - 設定時の注意事項 11-18
 - 定義 11-7

A

- ABR 35-28
- access-class コマンド 32-21
- ACE
 - IP 32-2
 - QoS 33-7
 - イーサネット 32-2
 - 定義 32-2
- ACL
 - ACE 32-2
 - any キーワード 32-14
 - host キーワード 32-14
 - IP
 - 暗黙的な拒否 32-11, 32-16, 32-17
 - 暗黙的なマスク 32-11
 - 一致条件 32-8
 - 作成 32-8
 - フラグメントおよび QoS に関する注意事項 33-33
 - 未定義 32-22
 - IPv4
 - 一致条件 32-8
 - インターフェイスへの適用 32-21
 - 作成 32-8
 - サポートされない機能 32-8
 - 端末回線への適用 32-20
 - 名前指定 32-16
 - 番号 32-9
 - IPv6
 - 一致条件 38-3

- インターフェイスへの適用 38-7
- サポート 38-2
- サポートされない機能 38-3
- スタック 38-3
- 制限 38-3
- 設定 38-4, 38-5
- 名前指定 38-4
- 表示 38-9
- 他の機能との相互作用 38-4
- 優先順位 38-2
- MAC 拡張 32-29, 33-45
- QoS 33-7, 33-42
- QoS クラス マップあたりの個数 33-33
- QoS に関するトラフィックの分類 33-42
- VLAN マップ
 - 設定 32-31
 - 設定時の注意事項 32-32
- エントリの再シーケンス 32-16
- 拡張 IP
 - QoS 分類用の設定 33-43
- 拡張 IPv4
 - 一致条件 32-8
 - 作成 32-11
 - コメント 32-20
 - サポート 1-8
 - サポートされない機能
 - IPv6 38-3
 - サポートされない機能、IPv4 32-8
 - サポートされるタイプ 32-2
- 時間範囲 32-18
- 照合 32-8, 32-22, 38-3
- 定義 32-2, 32-8
- 適用
 - IPv6 インターフェイス上 38-8
 - QoS への適用 33-7
 - インターフェイスへの適用 32-21, 38-7
 - 時間範囲 32-18

- スイッチドパケット上 32-40
 - ブリッジドパケット上 32-41
 - マルチキャストパケット 32-42
 - ルーテッドパケット上 32-41
 - 名前 38-4
 - 名前指定
 - IPv6 38-4
 - 名前指定、IPv4 32-16
 - ハードウェアおよびソフトウェア処理 32-23
 - ハードウェアでのサポート 32-23
 - 表示 32-43, 38-9
 - 標準 IPv4
 - 一致条件 32-8
 - 作成 32-10
 - 標準 IP、QoS 分類用の設定 33-42
 - 編集 32-24
 - ポート 32-2, 38-2
 - 優先順位 32-3
 - ルータ 32-2, 38-2
 - ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事項 32-39
 - ルータ ACL を VLAN マップと組み合わせて使用する
方法 32-39
 - 例 32-24, 33-42
 - レイヤ 4 情報 32-40
 - ログメッセージ 32-9
 - ACL エントリの再シーケンス 32-16
 - ACL の時間範囲 32-18
 - AC (コマンドスイッチ) 6-11
 - Address Resolution Protocol
 - ARP を参照
 - Area Border Router
 - ABR を参照
 - ARP
 - カプセル化 35-12
 - スタティック キャッシュの定義 35-11
 - 設定 35-11
 - 定義 1-6, 7-28, 35-11
 - テーブル
 - アドレス解決 7-28
 - 管理 7-28
 - AS パス フィルタ、BGP 35-56
 - ASBR 35-28
 - AS、BGP 内 35-49
 - Autonomous System Boundary Router
 - ASBR を参照
- ## B
- BackboneFast
 - イネーブル化 20-18
 - サポート 1-7
 - 説明 20-8
 - ディセーブル化 20-18
 - BGP
 - CIDR 35-62
 - clear コマンド 35-65
 - show コマンド 35-65
 - イネーブル化 35-49
 - コミュニティ フィルタリング 35-58
 - サポート 1-10
 - 集約アドレス 35-62
 - 集約ルート、設定 35-62
 - スーパーネット 35-62
 - セッションのリセット 35-52
 - 説明 35-46
 - デフォルト設定 35-47
 - ネイバの種類 35-49
 - ネイバの設定 35-60
 - バージョン 4 35-46
 - パスの選択 35-53
 - ピアの設定 35-60
 - 表示 35-65
 - 複数のパスのサポート 35-53
 - プレフィクス フィルタリング 35-57
 - マルチ VRF CE とのルーティング セッション
35-72
 - ルーティング ドメイン連合 35-62
 - ルート ダンプ化 35-64
 - ルート マップ 35-55
 - ルート リフレクタ 35-63
 - Border Gateway Protocol
 - BGP を参照
 - BPDU
 - errdisable ステート 20-3
 - RSTP フォーマット 19-14
 - フィルタリング 20-4
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 20-15
 - サポート 1-7
 - 説明 20-3
 - ディセーブル化 20-15
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 20-16

- サポート 1-7
 - 説明 20-3
 - ディセーブル化 20-16
- C**
- CA 信頼点**
- 設定 9-47
 - 定義 9-45
- CDP**
- アップデート 26-3
 - イネーブル化またはディセーブル化
 - インターフェイス上 26-5
 - スイッチ上 26-4
 - 概要 26-2
 - サポート 1-6
 - 信頼境界 33-39
 - スイッチ クラスタ内での自動検出 6-5
 - スイッチ スタックの考慮事項 26-2
 - 設定 26-3
 - 説明 26-2
 - 送信タイマーおよびホールドタイムの設定 26-3
 - デフォルト設定 26-3
 - 電力ネゴシエーション拡張機能 11-7
 - 表示 26-6
 - ルーティング デバイスでのディセーブル化 26-4?26-5
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-9
- CE デバイス 35-67**
- CEF**
- IPv6 36-16
 - イネーブル化 35-79
 - 定義 35-78
 - 分散 35-78
- CGMP**
- IGMP スヌーピング学習方式 24-10
 - 概要 40-8
 - キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア 40-55
 - サーバ サポート機能 40-8
 - サーバ サポート機能のイネーブル化 40-36
 - スイッチ サポート 1-4
 - マルチキャスト グループへの加入 24-3
- CIDR 35-62**
- CipherSuite 9-46**
- Cisco 7960 IP Phone 15-2**
- Cisco Discovery Protocol**
- CDP を参照
- Cisco Express Forwarding**
- CEF を参照
- Cisco Group Management Protocol**
- CGMP を参照
- Cisco Intelligence Engine 2100 Series Configuration Registrar**
- IE2100 を参照
- Cisco IOS DHCP サーバ**
- DHCP、Cisco IOS サーバ データベースを参照
- Cisco IOS File System**
- IFS を参照
- Cisco Network Assistant**
- Network Assistant を参照
- Cisco Networking Services**
- IE2100 を参照
- Cisco StackWise テクノロジー 1-3**
- スタック、スイッチを参照
- CiscoWorks2000 1-5, 31-5**
- CIST リージョナル ルート**
- MSTP を参照
- CIST ルート**
- MSTP を参照
- Classless InterDomain Routing**
- CIDR を参照
- CLI**
- エラー メッセージ 2-5
 - クラスタの管理 6-18
 - コマンド モード 2-2
 - コマンドの no および default 形式 2-5
 - コマンドの出力のフィルタリング 2-10
 - コマンドの省略形 2-4
 - 設定ログ 2-6
 - 説明 1-5
 - ヒストリ
 - コマンドの呼び出し方法 2-7
 - 説明 2-6
 - ディセーブル化 2-7
 - バッファ サイズの変更 2-6
 - ヘルプの利用方法 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化またはディセーブル化 2-8
 - 折り返し機能 2-10
 - キーストロークによる編集 2-8

- Coarse Wave Division Multiplexer
 - CWDM SFP を参照
- config.text 3-13
- configure terminal コマンド 11-12
- config-vlan モード 2-3, 13-8
- CoS
 - プライオリティを信頼 15-7
 - プライオリティを無効化 15-7
 - レイヤ2 フレーム 33-2
- crashinfo ファイル 43-30
- CWDM SFP 1-24

- D
- dCEF
 - スイッチ スタック内 35-78
- default コマンド 2-5
- description コマンド 11-26
- DHCP
 - Cisco IOS サーバ データベース
 - 設定 22-14
 - 説明 22-6
 - デフォルト設定 22-9
 - イネーブル化
 - サーバ 22-11
 - リレー エージェント 22-11
- DHCP Option 82
 - 回線 ID サブオプション 22-5
 - 概要 22-4
 - 設定時の注意事項 22-10
 - デフォルト設定 22-9
 - 転送アドレス、指定 22-12
 - パケット形式、サブオプション
 - 回線 ID 22-5
 - リモート ID 22-5
 - 表示 22-16
 - ヘルパー アドレス 22-12
 - リモート ID サブオプション 22-5
- DHCP スヌーピング
 - Option 82 データ挿入 22-4
 - エッジスイッチからの信頼できないパケットの受信 22-3, 22-13
 - 信頼できないインターフェイス 22-3
 - 信頼できないメッセージ 22-3
 - 信頼できるインターフェイス 22-3
 - 設定時の注意事項 22-10
 - デフォルト設定 22-9
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - バインディング テーブルの表示 22-16
 - プライベート VLAN 22-14
 - メッセージ交換プロセス 22-5
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
 - イネーブル化 22-14
 - エージェント統計情報の消去 22-15
 - エントリ 22-6
 - 削除
 - データベース エージェント 22-15
 - バインディング 22-15
 - バインディング ファイル 22-15
 - 設定 22-14
 - 設定時の注意事項 22-10
 - 説明 22-6
 - データベースの更新 22-15
 - デフォルト設定 22-9
 - バインディング 22-6
 - バインディング ファイル
 - 形式 22-7
 - 保存場所 22-6
 - バインディングの追加 22-14
 - 表示 22-16
 - ステータスおよび統計情報 22-16
 - バインディング エントリ 22-16
 - リセット
 - タイムアウト値 22-15
 - 遅延値 22-15
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP との関係 3-4
 - 概要 3-4
 - クライアント要求メッセージの交換 3-5
 - 構成例 3-9
 - サポート 1-5

- 設定
 - DNS 3-7
 - TFTP サーバ 3-6
 - クライアント側 3-4
 - サーバ側 3-6, 22-11
 - リレー デバイス 3-7
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 3-6
 - コンフィギュレーション ファイル受信 3-6
 - リレーのサポート 1-5, 1-11
 - Differentiated Services Code Point 33-2
 - Differentiated Services アーキテクチャ、QoS 33-2
 - Diffusing Update Algorithm (DUAL) 35-38
 - Distance Vector Multicast Routing Protocol
 - DVMRP を参照
 - distribute-list コマンド 35-90
 - DNS
 - DHCP ベースの自動設定 3-7
 - IPv6 36-4
 - 概要 7-17
 - サポート 1-5
 - 設定 7-17
 - 設定の表示 7-18
 - デフォルト設定 7-17
 - DoS 攻撃 25-2
 - DSCP 1-9, 33-2
 - DSCP トランスペアレンシ 33-39
 - DTP 1-7, 13-21
 - DUAL 有限状態マシン、EIGRP 35-39
 - DVMRP
 - DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 40-43
 - mrinfo 要求、応答 40-46
 - インターオペラビリティ
 - Cisco IOS ソフトウェア 40-8
 - シスコ製デバイス 40-41
 - 概要 40-8
 - サポート 1-11
 - 自動サマライズ
 - サマリー アドレスの設定 40-51
 - ディセーブル化 40-53
 - 送信元転送ツリー、構築 40-8
 - トンネル
 - 設定 40-43
 - ネイバ情報の表示 40-46
 - ネイバ
 - 情報の表示 40-46
 - デフォルト ルートのアドバタイズ 40-45
 - 非プルーニング ネイバとのピアリングの禁止 40-49
 - 非プルーニング ネイバの拒否 40-48
 - プローブ メッセージによる検出 40-41
 - ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 40-47
 - ルーティング テーブル 40-8
 - ルート
 - MBONE に入る個数の制限 40-50
 - Syslog メッセージのスレッシュホールドの変更 40-50
 - 削除 40-55
 - すべてをアドバタイズ 40-53
 - ネイバへのデフォルト ルートのアドバタイズ 40-45
 - 表示 40-56
 - メトリック オフセットの追加 40-53
 - 優先度 40-53
 - ユニキャスト ルート アドバタイズの制限 40-41
 - レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシング 40-47
 - dynamic auto トランキンング モード 13-21
 - dynamic desirable トランキンング モード 13-21
 - Dynamic Host Configuration Protocol
 - DHCP ベースの自動設定を参照
 - Dynamic Trunkingotocol
 - DTP を参照
- ## E
- EBGP 35-45
 - EIGRP
 - インターフェイス パラメータ、設定 35-42
 - コンポーネント 35-38
 - サポート 1-10
 - 設定 35-41
 - 定義 35-38
 - デフォルト設定 35-39
 - 認証 35-43
 - 表示 35-44
 - Enhanced IGRP
 - EIGRP を参照
 - EtherChannel
 - IEEE 802.3ad、説明 34-7

- LACP**
- システムプライオリティ 34-22
 - ステータスの表示 34-24
 - 説明 34-7
 - ポートプライオリティ 34-23
 - 他の機能との相互作用 34-8
 - ホットスタンバイポート 34-21
 - モード 34-7
- PAgP**
- Catalyst 1900 との互換性 34-20
 - 学習方式およびプライオリティの設定 34-20
 - サポート 1-4
 - 集約ポートラーナー 34-20
 - ステータスの表示 34-24
 - 説明 34-5
 - 他の機能との相互作用 34-6
 - モード 34-6
 - サポート 1-4
 - 自動作成 34-5, 34-7
 - スタックの変更、作用 34-10
 - ステータスの表示 34-24
 - 設定
 - レイヤ2 インターフェイス 34-14
 - レイヤ3 物理インターフェイス 34-17
 - レイヤ3 ポートチャンネル論理インターフェイス 34-16
 - 設定時の注意事項 34-13
 - 説明 34-2
 - 相互作用
 - STP 34-13
 - VLAN 34-13
 - チャンネルグループ
 - 番号 34-4
 - 物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインド 34-4
 - デフォルト設定 34-12
 - 転送方式 34-8, 34-19
 - ポートグループ 11-6
 - ポートチャンネルインターフェイス
 - 説明 34-4
 - 番号 34-4
 - レイヤ3 インターフェイス 35-6
 - ロードバランシング 34-8, 34-19
 - 論理インターフェイス、説明 34-4
- EtherChannel ガード**
- イネーブル化 20-18
 - 説明 20-11
 - ディセーブル化 20-19
- EUI** 36-3
- Express Setup** 1-3
- 『Getting Started Guide』も参照
- Extended Universal Identifier**
- EUI を参照
- Extensible Authentication Protocol over LAN** 10-2
- External BGP**
- EBGP を参照
- F**
- Fast Uplink Transition Protocol** 20-7
- FIB** 35-78
- Flex Link**
- 設定 21-6
 - 設定時の注意事項 21-5
 - 説明 21-2
 - デフォルト設定 21-5
 - 表示 21-9
- Forwarding Information Base**
- FIB を参照
- FTP**
- MIB ファイルへのアクセス A-4
 - イメージファイル
 - アップロード B-30
 - サーバの準備 B-27
 - ダウンロード B-28
 - 古いイメージの削除 B-30
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-15
 - 概要 B-13
 - サーバの準備 B-14
 - ダウンロード B-14
- G**
- get-bulk-request 動作 31-4
 - get-next-request 動作 31-4, 31-5
 - get-request 動作 31-4, 31-5
 - get-response 動作 31-4
 - GUI
 - デバイス マネージャおよび Network Assistant を参照

- H
- hello タイム
 - MSTP 19-25
 - STP 18-23
 - Hot Standby Router Protocol
 - HSRP を参照
 - HP OpenView 1-5
 - HSRP
 - ICMP リダイレクト メッセージのサポート 39-11
 - 概要 39-2
 - クラスタ グループにバインド 39-11
 - クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 6-12
 - クラスタ、クラスタ スタンバイ グループ、スタンバイ コマンド スイッチも参照
 - コマンドスイッチの冗長性 1-2, 1-6
 - 自動クラスタ リカバリ 6-13
 - スイッチ スタックの考慮事項 39-4
 - 設定 39-5
 - タイマー 39-10
 - 注意事項 39-5
 - 追跡 39-7
 - 定義 39-1
 - デフォルト設定 39-5
 - 認証ストリング 39-10
 - 表示 39-12
 - プライオリティ 39-7
 - ルーティングの冗長構成 1-10
 - HTTP over SSL
 - HTTPS を参照
 - HTTP セキュア サーバ 9-44
 - HTTPS 9-44
 - 自己署名証明書 9-45
 - 設定 9-48
- I
- IBGP 35-45
 - ICMP
 - IPv6 36-4
 - time-to-live-exceeded メッセージ 43-22
 - traceroute 43-22
 - unreachable メッセージと IPv6 38-4
 - サポート 1-10
 - 到達不能メッセージ 32-21
 - 到達不能、ACL 32-23
 - リダイレクト メッセージ 35-14
 - ICMP ping
 - 概要 43-18
 - 実行 43-18
 - ICMP Router Discovery Protocol
 - IRDP を参照
 - ICMPv6 36-4
 - IDS 装置
 - 入力 RSPAN 28-22
 - 入力 SPAN 28-15
 - IE2100
 - CNS エンベデッド エージェント
 - イベント エージェントのイネーブル化 4-9
 - コンフィギュレーション エージェントのイネーブル化 4-10
 - 自動設定のイネーブル化 4-8
 - 説明 4-6
 - Configuration Registrar
 - configID、deviceID、ホスト名 4-4
 - イベント サービス 4-3
 - コンフィギュレーション サービス 4-3
 - 説明 4-2
 - IEEE 802.1D
 - STP を参照
 - IEEE 802.1p 15-2
 - IEEE 802.1Q
 - カプセル化 13-20
 - 設定に関する注意事項 13-22
 - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 13-27
 - トランク ポート 11-4
 - トンネリング
 - 説明 17-2
 - デフォルト 17-5
 - 他の機能との互換性 17-7
 - トンネル ポート 17-7
 - IEEE 802.1s
 - MSTP を参照
 - IEEE 802.1w
 - RSTP を参照
 - IEEE 802.1x
 - ポートベースの認証も参照
 - IEEE 802.1x で許可されたポート 10-4
 - IEEE 802.1x で無許可のポート 10-4
 - IEEE 802.3ad
 - EtherChannel を参照

- IEEE 802.3af
 - PoE を参照
- IEEE 802.3x フロー制御 11-21
- ifIndex 値、SNMP 31-6
- IFS 1-6
- IGMP
 - Join メッセージ 24-3
 - 概要 40-2
 - キャッシュ エントリの削除 40-55
 - クエリー 24-4
 - グループへのアクセスの制御 40-31
 - 高速スイッチング 40-35
 - サポート 1-4
 - サポートされるバージョン 24-3
 - スイッチの設定
 - グループのメンバー 40-30
 - スタティックに接続されたメンバー 40-35
 - 設定可能脱退タイマー
 - イネーブル化 24-12
 - 説明 24-6
 - 即時脱退処理、イネーブル化 24-12, 37-10
 - デフォルト設定 40-30
 - 統計情報の表示 40-56
 - バージョン 1
 - 説明 40-3
 - バージョン 2 への変更 40-32
 - バージョン 2
 - クエリー タイムアウト 40-34
 - グループのプルーニング 40-34
 - 最大クエリー応答時間 40-34
 - 説明 40-3
 - バージョン 1 への変更 40-32
 - フラッディング マルチキャスト トラフィック
 - インターフェイスでのディセーブル化 24-14
 - クエリーの促進 24-14
 - グローバル Leave 24-14
 - 時間の制御 24-13
 - フラッディング モードからの回復 24-14
 - ホストクエリー インターバル、変更 40-33
 - マルチキャスト グループからの脱退 24-5
 - マルチキャスト グループへの加入 24-3
 - マルチキャストの到達可能性 40-30
 - レポート抑制
 - 説明 24-6
 - ディセーブル化 24-17, 37-12
- IGMP グループ
 - 最大数の設定 24-31
 - フィルタリングの設定 24-33
- IGMP スヌーピング
 - VLAN 設定 24-9
 - アドレスのエイリアス 24-2
 - イネーブル化またはディセーブル化 24-8, 37-7
 - クエリア
 - 設定 24-15
 - 設定時の注意事項 24-15
 - グローバル設定 24-8
 - サポート 1-4
 - サポートされるバージョン 24-3
 - スイッチ スタック内 24-7
 - スタックの変更 24-7
 - 設定 24-8
 - 即時脱退 24-5
 - 定義 24-2
 - デフォルト設定 24-8, 37-6, 37-7
 - 表示 24-18, 37-13
 - 方式 24-9
- IGMP スロットリング
 - 設定 24-32
 - 説明 24-28
 - デフォルト設定 24-29
 - 表示 24-33
- IGMP 即時脱退
 - イネーブル化 24-12
 - 設定時の注意事項 24-12
 - 説明 24-5
- IGMP フィルタリング
 - サポート 1-5
 - 設定 24-29
 - 説明 24-28
 - デフォルト設定 24-29
 - 表示 24-33
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード 24-29
 - 設定 24-29
 - 適用 24-30
- IGP 35-28
- Intelligence Engine 2100 シリーズ CNS エージェント
 - IE2100 を参照
- interface range macro コマンド 11-14
- interface コマンド 11-11?11-12

- Interior Gateway Protocol
 - IGP を参照
- Internal BGP
 - IBGP を参照
- Internet Control Message Protocol
 - ICMP を参照
- Internet Group Management Protocol
 - IGMP を参照
- IP ACL
 - QoS 分類 33-7
 - 暗黙的な拒否 32-11, 32-16
 - 暗黙的なマスク 32-11
 - 名前指定 32-16
 - 未定義 32-22
- ip cef distributed コマンド 35-78
- ip igmp profile コマンド 24-29
- IP Phone
 - QoS 15-2
 - QoS によるポートセキュリティの確保 33-38
 - QoS の信頼境界 33-38
 - 自動的な分類とキューイング 33-21
 - 設定 15-5
- IP precedence 33-2
- IP traceroute
 - 概要 43-22
 - 実行 43-22
- IP アドレス
 - 128 ビット 36-2
 - IP 情報も参照
 - IP ルーティング用 35-7
 - IPv6 36-2
 - MAC アドレスとの相互作用 35-11
 - 解決 7-28
 - クラス 35-8
 - クラスタ アクセス 6-2
 - 候補またはメンバー スイッチ 6-4, 6-14
 - コマンド スイッチ 6-3, 6-12, 6-14
 - 冗長クラスタ 6-12
 - スタンバイ コマンド スイッチ 6-12, 6-14
 - デフォルト設定 35-7
 - 表示 35-20
- IP サービス イメージ 1-2
- IP 指定ブロードキャスト 35-16
- IP 情報
 - デフォルト設定 3-4
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
 - 手動 3-11
- IP ソース ガード
 - 802.1x 22-19
 - DHCP スヌーピング 22-17
 - EtherChannel 22-19
 - TCAM エントリ 22-19
 - VRF 22-19
 - イネーブル化 22-20
 - スタティック バインディング
 - 削除 22-20
 - 追加 22-20
 - 設定時の注意事項 22-19
 - 説明 22-17
 - 送信元 IP アドレス、フィルタリング 22-17
 - 送信元 IP および MAC アドレス フィルタリング
 - 22-18
 - ディセーブル化 22-20
 - デフォルト設定 22-19
 - トランク インターフェイス 22-19
 - バインディング テーブル 22-17
 - バインディング設定
 - 自動 22-17
 - 手動 22-17
 - 表示
 - 設定 22-21
 - バインディング 22-21
 - フィルタリング
 - 送信元 IP アドレス 22-17
 - 送信元 IP および MAC アドレス 22-18
 - プライベート VLAN 22-19
 - ポートセキュリティ 22-19
 - ルーテッドポート 22-19
- IP ブロードキャストアドレス 35-18
- IP プロトコル
 - ACL 内 32-13
 - ルーティング 1-10
- IP ベース イメージ 1-2
- IP マルチキャスト ルーティング
 - CGMP も参照
 - DVMRP も参照
 - IGMP スヌーピング 24-2
 - IGMP も参照
 - MBONE
 - sdr キャッシュ エントリの削除 40-55

- sdr キャッシュ エントリの存続時間の制限 40-38
- sdr キャッシュの表示 40-56
- sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 40-37
- Session Directory (sdr) ツール、説明 40-37
- アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 40-50
- 会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 40-37
- 説明 40-37
- PIM も参照
- PIMv1 および PIMv2 のインターオペラビリティ 40-10
- Reverse Path Forwarding (RPF) チェック 40-6
- RP
 - PIMv2 BSR の設定 40-20
 - 自動 RP および BSR の使用法 40-24
 - 自動 RP の設定 40-15
 - 手動割り当て 40-14
 - マッピング情報の表示 40-25
- アドレス
 - すべてのシステム 40-3
 - すべてのマルチキャスト ルータ 40-3
 - ホスト グループ アドレス範囲 40-3
- イネーブル化
 - PIM モード 40-13
 - マルチキャスト転送 40-12
- 管理の有効範囲付き境界、説明 40-38
- グループ /RP マッピング
 - BSR 40-6
 - 自動 RP 40-5
- シスコの実装 40-2
- 自動 RP
 - BSR との使用法 40-24
 - 概要 40-5
 - 既存の SM クラウドへの追加 40-16
 - キャッシュのクリア 40-55
 - 候補 RP スプーフィングの禁止 40-18
 - 新規インターネットワークでの設定 40-16
 - 設定時の注意事項 40-11
 - 着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 40-18
 - 問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 40-18
 - 利点 40-15
- スタック構成
 - スタック マスターの機能 40-9
 - スタック メンバーの機能 40-9
- 設定
 - IP マルチキャスト境界 40-38
 - 基本的なマルチキャスト ルーティング 40-12
- デフォルト設定 40-10
- 統計情報、システムおよびネットワークの表示 40-55
- 表示
 - パケット速度および損失情報 40-56
 - パスのトレース 40-56
 - ピアリング デバイス 40-56
- ブートストラップ ルータ
 - IP マルチキャスト境界の定義 40-21
 - PIM ドメイン境界の定義 40-20
 - 概要 40-6
 - 候補 BSR の設定 40-22
 - 候補 RP の設定 40-23
 - 自動 RP との使用法 40-24
 - 設定時の注意事項 40-11
- プロトコルの動作 40-2
- マルチキャスト転送、説明 40-6
- ルーティング テーブル
 - 削除 40-55
 - 表示 40-56
- IP ユニキャスト ルーティング
 - ARP 35-11
 - BGP も参照
 - EIGRP も参照
 - EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 35-6
 - IGP 35-28
 - IP アドレス
 - クラス 35-8
 - 設定 35-7
 - IPv6 36-3
 - IRDP 35-14
 - MAC アドレスおよび IP アドレス 35-11
 - OSPF も参照
 - RIP も参照
 - SVI を使用 35-6
 - UDP 35-17
 - VLAN 間 35-3
 - アドレス解決 35-11
 - イネーブル化 35-21
 - 管理距離 35-80, 35-90
 - 逆アドレス解決 35-11
 - クラスレス ルーティング 35-9

- 再配信 35-82
- サブネットゼロ 35-8
- サブネットマスク 35-8
- 指定ブロードキャスト 35-16
- スーパーネット 35-9
- スタティックルーティング 35-4
- スタティックルートの設定 35-80
- 設定手順 35-6
- ダイナミックルーティング 35-4
- ディセーブル化 35-21
- デフォルト
 - アドレス指定の設定 35-7
 - ゲートウェイ 35-14
 - ネットワーク 35-81
 - ルーティング 35-3
 - ルート 35-81
- 認証鍵 35-91
- パッシブインターフェイス 35-89
- ブロードキャスト
 - アドレス 35-18
 - ストーム 35-16
 - パケット 35-16
 - フラッドイング 35-19
- プロキシARP 35-11
- プロトコル
 - ダイナミック 35-4
 - ディスタンスベクタ 35-4
 - リンクステート 35-4
- ルーテッドポート 35-6
- レイヤ3インターフェイス 35-6
- レイヤ3インターフェイスへのIPアドレスの割り当て 35-8
- IPルーティング
 - イネーブル化 35-21
 - インターフェイスの接続 11-10
 - ディセーブル化 35-21
- IPルート、表示 35-92
- IPv4 ACL
 - インターフェイスへの適用 32-21
 - 拡張、作成 32-11
 - 名前指定 32-16
 - 標準、作成 32-10
- IPv4およびIPv6
 - インターフェイス上の設定 36-14
 - 相違 36-2
 - デュアルプロトコルスタック 36-6
- IPv6
 - ACL
 - 一致条件 38-3
 - サポート 38-2
 - 制限 38-3
 - 表示 38-9
 - ポート 38-2
 - 優先 38-2
 - ルータ 38-2
 - CEFv6 36-16
 - ICMP 36-4
 - ICMPレート制限 36-16
 - OSPF 36-21
 - RIP 36-19
 - SDMテンプレート 8-3, 36-9, 37-1, 38-1
 - アドレス 36-2
 - アドレス形式 36-3
 - アドレスの割り当て 36-11
 - アプリケーション 36-5
 - イネーブル化 36-11
 - 機能の制限事項 36-7
 - サポートされていない機能 36-6
 - サポートされている機能 36-3
 - 自動設定 36-5
 - スイッチスタック 36-8
 - スイッチの制限 36-7
 - スタックマスターの機能 36-8
 - スタティックルートの設定 36-17
 - 定義 36-1
 - デフォルト設定 36-11
 - パスMTU検出 36-4
 - 表示 36-24
 - 目的 36-2
 - 利点 36-2
- IPv6トラフィック、フィルタリング 38-4
- IRDP
 - サポート 1-10
 - 設定 35-14
 - 定義 35-14
- ISL
 - IEEE 802.1Qトンネリングによるトランキンク 17-5
 - IPv6 36-3
 - カプセル化 1-7, 13-20
 - トランクポート 11-4

J

Join メッセージ、IGMP 24-3

K

KDC

Kerberos を参照
説明 9-33

Kerberos

KDC 9-33

TGT 9-35

暗号化ソフトウェア イメージ 9-33

サーバ 9-35

サポート 1-9

証明書 9-33

信頼できるサードパーティとしてのスイッチ
9-33

設定 9-37

設定例 9-33

説明 9-33

チケット 9-33

動作 9-35

認証

KDC 9-36

境界スイッチ 9-36

ネットワーク サービス 9-36

用語 9-34

レルム 9-35

L

l2protocol-tunnel コマンド 17-15

LACP

EtherChannel を参照

レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-10

LDAP 4-3

LED、スイッチ

ハードウェア インストレーション ガイドを参照

Lightweight Directory Access Protocol

LDAP を参照

Link State Advertisement (LSA) 35-33

Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-16, 1-22

LRE プロファイル、スイッチ クラスタ内の考慮事項
6-17

M

MAC アドレス

ACL 内 32-29

IP アドレスとの相互作用 35-11

IP ソース バインディング テーブルの表示 22-21

VLAN との対応付け 7-22

アドレス テーブルの作成 7-21

エージング タイム 7-22

解決 7-28

スタティック

削除 7-26

設定 7-27

追加 7-25

特性 7-25

廃棄 7-27

ダイナミック

削除 7-23

ラーニング 7-21

デフォルト設定 7-22

表示 7-28

MAC アドレス通知、サポート 1-11

MAC アドレステーブル移動更新

設定 21-6

設定時の注意事項 21-5

説明 21-3

デフォルト設定 21-5

表示 21-9

MAC アドレスと VLAN のマッピング 13-32

MAC 拡張 ACL

QoS の設定 33-45

QoS 分類 33-5

作成 32-29

定義 32-29

レイヤ 2 インターフェイスへの適用 32-30

maximum-paths コマンド 35-53, 35-79

MHSRP 39-4

MIB

FTP によるファイルへのアクセス A-4

SNMP との相互作用 31-5

概要 31-2

サポート A-2

ファイルの場所 A-4

Mini-point-of-presence

POP を参照

- MSDP
 - DM 領域
 - SA メッセージの送信 41-16
 - 発信元アドレスの指定 41-17
 - MSDP 接続および統計情報のクリア 41-18
 - SA メッセージ
 - TTL によるデータの制限 41-13
 - アダプタイズされる送信元の制限 41-9
 - キャッシュ エントリのクリア 41-18
 - キャッシング 41-6
 - 着信のフィルタリング 41-13
 - 定義 41-2
 - ピアからのフィルタリング 41-10
 - ピアへのフィルタリング 41-12
 - 表示 41-18
 - 概要 41-2
 - サポート 1-11
 - 参加遅延、定義 41-6
 - 送信元情報の制御
 - スイッチから発信 41-9
 - スイッチで受信 41-13
 - スイッチで転送 41-11
 - デフォルト設定 41-4
 - 発信元アドレス、変更 41-17
 - ピア
 - シャットダウン 41-15
 - 送信元情報の要求 41-8
 - デフォルトの設定 41-4
 - ピアリング関係、概要 41-2
 - 表示 41-18
 - ピア RPF フラッドイング 41-2
 - フィルタリング
 - 着信 SA メッセージ 41-13
 - ピアからの SA 要求メッセージ 41-10
 - ピアへの SA メッセージ 41-12
 - メッシュ グループ
 - 設定 41-15
 - 定義 41-15
 - 利点 41-3
- MSTP
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 20-15
 - 説明 20-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 20-16
 - 説明 20-3
 - CIST リージョナル ルート 19-4
 - CIST ルート 19-6
 - CIST、説明 19-4
 - CST
 - 定義 19-4
 - リージョン間の動作 19-5
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 20-18
 - 説明 20-11
 - IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 19-28
 - 説明 19-10
 - IEEE 802.1s
 - 実装 19-7
 - ポート役割命名の変更 19-7
 - 用語 19-6
 - IST
 - 定義 19-3
 - マスター 19-4
 - リージョン内の動作 19-4
 - MST リージョン
 - CIST 19-4
 - IST 19-3
 - サポートされるスパニングツリー インスタンス 19-3
 - 設定 19-18
 - 説明 19-3
 - ホップ カウント メカニズム 19-6
 - PortFast
 - イネーブル化 20-13
 - 説明 20-2
 - PortFast イネーブル ポートのシャットダウン 20-3
 - VLAN と MST インスタンスのマッピング 19-19
 - イネーブル化 19-18
 - インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 20-2
 - オプション機能のデフォルト設定 20-13
 - 概要 19-3
 - 拡張システム ID
 - セカンダリ ルート スイッチに対する影響 19-21
 - 予期しない動作 19-20
 - ルート スイッチへの影響 19-20
 - 境界ポート
 - 設定時の注意事項 19-18
 - 説明 19-7

- サポートされるインスタンス 18-11
 - サポート対象のオプションの機能 1-7
 - スタックの変更、作用 19-9
 - ステータスの表示 19-29
 - 設定
 - hello タイム 19-25
 - MST リージョン 19-18
 - 高速コンバージェンス用リンク タイプ 19-27
 - 最大エージング タイム 19-26
 - 最大ホップ カウント 19-27
 - スイッチ プライオリティ 19-24
 - セカンダリ ルート スイッチ 19-21
 - 転送遅延時間 19-26
 - ネイバ タイプ 19-28
 - パス コスト 19-23
 - ポート プライオリティ 19-22
 - ルート スイッチ 19-20
 - 設定時の注意事項 19-18, 20-13
 - デフォルト設定 19-17
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性 18-12
 - ルート ガード
 - イネーブル化 20-19
 - 説明 20-11
 - ルート スイッチ
 - 拡張システム ID の影響 19-20
 - 設定 19-20
 - 予期しない動作 19-20
 - ルート スイッチとしての選択の防止 20-11
 - ループ ガード
 - イネーブル化 20-20
 - 説明 20-12
 - Multicast Source Discovery Protocol
 - MSDP を参照
 - Multicast VLAN Registration
 - MVR を参照
 - Multiple HSRP
 - MHSRP を参照
 - MVR
 - IGMPv3 24-23
 - アドレスのエイリアス 24-23
 - アプリケーション例 24-21
 - インターフェイスの設定 24-25
 - グローバル パラメータの設定 24-24
 - サポート 1-5
 - スイッチ スタック内 24-23
 - 設定時の注意事項 24-23
 - 説明 24-20
 - デフォルト設定 24-23
 - 表示 24-27
 - マルチキャスト TV アプリケーション モード 24-21
 - モード 24-24
- ## N
- Namespace Mapper
 - NSM を参照
 - Network Assistant
 - イメージファイルのダウンロード 1-3
 - ウィザード 1-3
 - ガイド モード 1-3
 - 管理オプション 1-3
 - スイッチ スタックの管理 5-2, 5-17
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-5
 - 要件 xliii
 - 利点 1-3
 - Network Time Protocol
 - NTP を参照
 - no switchport コマンド 11-5
 - no コマンド 2-5
 - not-so-stubby area
 - NSSA を参照
 - NSM 4-3
 - NSSA、OSPF 35-33
 - NTP
 - アクセスの制限
 - アクセス グループの作成 7-10
 - 特定のインターフェイスでの NTP サービスのディセーブル化 7-11
 - アソシエーション
 - サーバ 7-7
 - 定義 7-3
 - 認証 7-6
 - ピア 7-7
 - ブロードキャスト メッセージのイネーブル化 7-8
 - 概要 7-3
 - サポート 1-6
 - 時刻
 - サービス 7-3
 - 同期化 7-3

- ストラタム 7-3
 - 設定の表示 7-12
 - 送信元 IP アドレス、設定 7-11
 - デバイスの同期化 7-7
 - デフォルト設定 7-5
- O**
- Open Shortest Path First**
- OSPF を参照
- OSPF**
- IPv6 36-21
 - LSA グループ同期 35-36
 - インターフェイス パラメータ、設定 35-31
 - エリア パラメータ、設定 35-33
 - 仮想リンク 35-34
 - サポート 1-10
 - 設定 35-30
 - 説明 35-28
 - デフォルト設定
 - 設定 35-29
 - メトリック 35-34
 - ルート 35-34
 - 表示 35-37
 - ルータ ID 35-36
 - ルート サマライズ 35-34
- P**
- PAgP**
- EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トネリング 17-10
- PBR**
- PBR を参照
- PC (パッシブ コマンド スイッチ) 6-11**
- PE デバイス 35-68**
- PE と CE のルーティング、設定 35-72**
- PIM**
- dense (密) モード
 - RPF チェック 40-7
 - 概要 40-4
 - ランデブー ポイント (RP)、説明 40-5
 - sparse (疎) モード
 - Join メッセージおよび共有ツリー 40-5
 - RPF チェック 40-7
 - 概要 40-5
 - ブルーニング メッセージ 40-5
- SPT、使用の延期 40-27**
- 概要 40-3**
- 共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 40-26**
- サポート 1-11**
- デフォルト設定 40-10**
- ネイバの表示 40-56**
- バージョン**
- v2 の改善点 40-4
 - インターオペラビリティ 40-10
 - インターオペラビリティに関するトラブルシューティング 40-25
- モードのイネーブル化 40-13**
- ルータクエリー メッセージ インターバル、変更 40-29**
- PIM/DVMRP、スヌーピング方式 24-9**
- ping**
- 概要 43-18
 - 実行 43-18
 - 文字出力の説明 43-19
- PoE**
- auto モード 11-9
 - CDP に対する電力ネゴシエーション拡張機能 11-7
 - IEEE 電力分類レベル 11-8
 - static モード 11-9
 - サポートされるポート単位のワット数 11-7
 - サポート対象規格 11-7
 - サポート対象デバイス 11-7
 - シスコ インテリジェント電力管理 11-7
 - 受電装置の検出および初期電力割り当て 11-8
 - 消費電力付き CDP、説明 11-7
 - 設定 11-23
 - 低出力モードで稼働する高出力デバイス 11-7
 - 電力管理モード 11-9
 - 電力消費 11-24
 - 電力ネゴシエーション付き CDP、説明 11-7
 - トラブルシューティング 43-16
 - パワー バジェット 11-24
- POP 1-22**
- PortFast**
- イネーブル化 20-13
 - サポート 1-7
 - 説明 20-2
 - モード、スパニングツリー 13-33
- Power over Ethernet**
- PoE を参照

Protocol-Independent Multicast Protocol

PIM を参照

PVST+

IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ
18-12

サポートされるインスタンス 18-11

説明 18-11

Q

QoS

DSCP トランスペアレンシ 33-39

IP Phone

検出および信頼設定 33-21, 33-38

自動的な分類とキューイング 33-21

MQC コマンド 33-1

QoS ラベル、定義 33-4

暗黙的な拒否 33-7

概要 33-2

書き換え 33-20

基本モデル 33-3

キュー

SRR、説明 33-14

WTD、説明 33-13

出力キューの特性の設定 33-71

高いプライオリティ (緊急) 33-19, 33-78

入力キューの特性の設定 33-67

場所 33-13

クラス マップ

設定 33-46

表示 33-80

グローバルなイネーブル化 33-35

サポート 1-9

自動 QoS

VoIP 用にイネーブル化 33-26

実行コンフィギュレーションに対する影響
33-25

初期設定の表示 33-30

生成されるコマンドの表示 33-27

生成されるコマンドのリスト 33-23

設定時の注意事項 33-25

設定とデフォルトの表示 33-30

設定例 33-28

説明 33-21

ディセーブル化 33-27

デフォルト出力キュー 33-22

デフォルト入力キュー 33-22

トラフィックの分類 33-21

出力インターフェイスの帯域幅の制限 33-79

出力キュー

DSCP または CoS 値のマッピング 33-74

SRR の共有ウェイトの設定 33-77

SRR のシェーピング ウェイトの設定 33-76

WTD スレッシュホールドの設定 33-72

WTD、説明 33-19

スケジューリング、説明 33-4

スレッシュホールド マップの表示 33-75

説明 33-4

バッファ スペースの割り当て 33-72

バッファ割り当て方式、説明 33-18

フローチャート 33-17

信頼状態

信頼されたデバイス 33-38

説明 33-5

ドメイン内 33-36

別のドメインとの境界 33-40

設定

DSCP トランスペアレンシ 33-39

DSCP マップ 33-61

IP 拡張 ACL 33-43

IP 標準 ACL 33-42

MAC ACL 33-45

自動 QoS 33-21

集約ポリサー 33-59

出力キューの特性 33-71

信頼境界 33-38

デフォルトのポート CoS 値 33-37

ドメイン内のポートの信頼状態 33-36

入力キューの特性 33-67

物理ポートのポリシー マップ 33-48

別のドメインとの境界の DSCP 信頼状態
33-40

ポリシー マップ、階層型 33-52

設定時の注意事項

自動 QoS 33-25

標準 QoS 33-33

デフォルトの自動設定 33-21

統計情報の表示 33-80

入力キュー

DSCP または CoS 値のマッピング 33-68

SRR の共有ウェイトの設定 33-70

WTD スレッシュホールドの設定 33-68

- WTD、説明 33-16
- スケジューリング、説明 33-4
- スレッシュホールド マップの表示 33-68
- 説明 33-4
- 帯域幅の割り当て 33-70
- バッファ スペースの割り当て 33-69
- バッファおよび帯域幅の割り当て、説明 33-16
- プライオリティ キュー、設定 33-70
- プライオリティ キュー、説明 33-16
- フローチャート 33-15
- パケットの変更 33-20
- 標準 QoS のデフォルト設定 33-31
- フローチャート
 - 出力ポートのキューイングおよびスケジューリング 33-17
 - 入力ポートのキューイングおよびスケジューリング 33-15
- 分類 33-6
- ポリシングおよびマーキング 33-10
- 分類
 - CoS の信頼、説明 33-5
 - DSCP トランスペアレンシ、説明 33-39
 - DSCP の信頼、説明 33-5
 - IP ACL、説明 33-5, 33-7
 - IP precedence の信頼、説明 33-5
 - IP トラフィックのオプション 33-5
 - MAC ACL、説明 33-5, 33-7
 - クラス マップ、説明 33-7
 - 定義 33-4
 - 転送処理 33-3
 - 非 IP トラフィックのオプション 33-5
 - フレームおよびパケット 33-3
 - フローチャート 33-6
 - ポリシー マップ、説明 33-7
- ポリサー
 - 個数 33-34
 - 設定 33-51, 33-56, 33-59
 - 説明 33-8
 - タイプ 33-9
 - 表示 33-80
- ポリシー マップ
 - SVI 上の階層型 33-52
 - 階層型 33-8
 - 特性 33-48
 - 表示 33-80
 - 物理ポートの非階層型 33-48
- ポリシー、インターフェイスへの付加 33-9
- ポリシング
 - 説明 33-4, 33-8
 - トークンバケット アルゴリズム 33-9
- マーキング、説明 33-4, 33-8
- マークダウン 33-51, 33-56
- マッピング テーブル
 - CoS/DSCP 33-61
 - DSCP/CoS 33-65
 - DSCP/DSCP 変換 33-66
 - IP precedence/DSCP 33-63
 - タイプ 33-12
 - 表示 33-80
 - ポリシング設定 DSCP 33-64
- QoS の CoS 出力キュー スレッシュホールド マップ 33-19
- QoS の CoS 入力キュー スレッシュホールド マップ 33-16
- QoS の CoS/DSCP マップ 33-61
- QoS の DSCP 出力キュー スレッシュホールド マップ 33-19
- QoS の DSCP 入力キュー スレッシュホールド マップ 33-16
- QoS の DSCP/CoS マップ 33-65
- QoS の DSCP/DSCP 変換 マップ 33-66
- QoS の IP precedence/DSCP マップ 33-63
- QoS の緊急キュー 33-78
- QoS の信頼境界 33-38
- QoS のポリシー マップ
 - SVI 上の階層型
 - 設定 33-52
 - 設定時の注意事項 33-33
 - 説明 33-11
 - 階層型 33-8
 - 説明 33-7
 - 特性 33-48
 - 表示 33-80
 - 物理ポートの非階層型
 - 設定 33-48
 - 設定時の注意事項 33-33
 - 説明 33-9
- QoS のポリシング設定 DSCP マップ 33-64
- QoS のマッピング テーブル
 - 設定
 - CoS/DSCP 33-61
 - DSCP 33-61
 - DSCP/CoS 33-65

- DSCP/DSCP 変換 33-66
- IP precedence/DSCP 33-63
- ポリシング設定 DSCP 33-64
- 説明 33-12

- R**
- RADIUS**
 - AAA サーバ グループの定義 9-26
 - アトリビュート
 - ベンダー固有 9-30, 9-32
 - 概要 9-19
 - クラスタ内 6-17
 - サーバの識別 9-22
 - サポート 1-9
 - 設定
 - アカウンティング 9-29
 - 許可 9-28
 - 通信、グローバル 9-22, 9-30
 - 通信、サーバ単位 9-22
 - 認証 9-24
 - 複数の UDP ポート 9-22
 - 設定の表示 9-32
 - デフォルト設定 9-22
 - 動作 9-21
 - ネットワーク環境 9-19
 - 方式リスト、定義 9-21
 - ユーザがアクセスするサービスの追跡 9-29
 - ユーザへのサービスの制限 9-28
- Rapid Per-VLAN Spanning-Tree Plus
 - Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 18-12
 - サポートされるインスタンス 18-11
 - 説明 18-11
- Rapid Spanning-Tree Protocol
 - RSTP を参照
- RARP 35-11
- rcommand コマンド 6-18
- RCP
 - イメージファイル
 - アップロード B-35
 - サーバの準備 B-32
 - ダウンロード B-33
 - 古いイメージの削除 B-35
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-19
 - 概要 B-16
 - サーバの準備 B-17
 - ダウンロード B-18
- Remote Authentication Dial-In User Service
 - RADIUS を参照
- Remote Copy Protocol
 - RCP を参照
- Remote Network Monitoring
 - RMON を参照
- Remote SPAN 28-4
 - RSPAN を参照
- Reverse Address Resolution Protocol
 - RARP を参照
- RFC
 - 1058、RIP 35-22
 - 1157、SNMPv1 31-2
 - 1166、IP アドレス 35-8
 - 1253、OSPF 35-28
 - 1163、BGP 35-45
 - 1267、BGP 35-45
 - 1771、BGP 35-45
 - 1305、NTP 7-3
 - 1587、NSSA 35-28
 - 1757、RMON 29-2
 - 1901、SNMPv2C 31-2
 - 1902 ~ 1907、SNMPv2 31-2
 - 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 24-2
 - 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 24-2
 - 2273 ~ 2275、SNMPv3 31-2
- RIP
 - IPv6 36-19
 - アドバタイズ 35-22
 - サポート 1-10
 - サマリー アドレス 35-25
 - スプリット ホライズン 35-25
 - 設定 35-23
 - 説明 35-22
 - デフォルト設定 35-22
 - 認証 35-25
 - ホップ カウント 35-22
- RMON
 - アラームおよびイベントのイネーブル化 29-3
 - 概要 29-2
 - サポート 1-11

- サポートされているグループ 29-2
- ステータスの表示 29-6
- デフォルト設定 29-3
- 統計情報
 - グループイーサネットの収集 29-5
 - グループ履歴の収集 29-4
- route-map コマンド 35-87
- Routing Information Protocol
 - RIP を参照
- RSPAN 28-4
- VLAN ベース 28-7
- 宛先ポート 28-8
- 概要 1-11, 28-2
- 受信トラフィック 28-6
- スイッチスタック内 28-3
- スタックの変更 28-10
- ステータスの表示 28-25
- セッション
 - 作成 28-19
 - 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 28-24
 - 定義 28-4
 - 入力トラフィックのイネーブル化 28-22
 - モニタ対象ポートの指定 28-19
- セッション限度 28-11
- 設定時の注意事項 28-18
- 送信されたトラフィック 28-6
- 送信元ポート 28-7
- デフォルト設定 28-11
- 特性 28-9
- 他の機能との相互作用 28-9
- モニタ側ポート 28-8
- モニタ対象ポート 28-7
- RSTP
 - BPDU
 - 形式 19-14
 - 処理 19-15
 - IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 19-28
 - 説明 19-10
 - トポロジーの変更 19-15
 - MSTP も参照
 - アクティブトポロジー 19-11
 - 概要 19-11
 - 高速コンバージェンス
 - エッジポートおよび PortFast 19-12
 - クロススタック高速コンバージェンス 19-12
 - 説明 19-12
 - ポイントツーポイントリンク 19-12, 19-27
 - ルートポート 19-12
 - 指定スイッチ、定義 19-11
 - 指定ポート、定義 19-11
 - 提案合意ハンドシェイクプロセス 19-12
 - ポートの役割
 - 説明 19-11
 - 同期化 19-13
 - ルートポート、定義 19-11
- S
 - SC (スタンバイ コマンド スイッチ) 6-11
 - SDM
 - スイッチスタックの考慮事項 5-10
 - 説明 8-1
 - テンプレート
 - 個数 8-2
 - 設定 8-7
 - SDM テンプレート
 - アグリゲータ 8-2
 - 設定 8-6
 - 設定時の注意事項 8-6
 - タイプ 8-2
 - デスクトップ 8-2
 - デュアル IPv4/IPv6 8-3
 - SDM 不一致モード 5-11, 8-4
 - Secure Shell
 - SSH を参照
 - Secure Socket Layer
 - SSL を参照
 - set-request 動作 31-5
 - SFP
 - ステータスの表示 43-17
 - ステータスのモニタ 11-31, 43-17
 - セキュリティと識別 43-17
 - 番号 11-12
 - Shaped Round Robin
 - SRR を参照
 - show access-lists hardware counters コマンド 32-23
 - show cdp traffic コマンド 26-6
 - show cluster members コマンド 6-18
 - show configuration コマンド 11-26

- show forward コマンド 43-27
- show interfaces コマンド 11-20, 11-26
- show l2protocol コマンド 17-15, 17-17, 17-18
- show platform forward コマンド 43-27
- show running-config コマンド
 - ACL の表示 32-21, 32-22, 32-33, 32-36
 - インターフェイスに関する記述の追加 11-26
- show および more コマンド出力のフィルタリング 2-10
- show および more コマンドの出力のフィルタリング 2-10
- Small Form-factor Pluggable (SFP) モジュール
 - SFP を参照
- SmartPort マクロ
 - Web サイト 12-2
 - グローバルパラメータ値の適用 12-5, 12-7
 - 作成 12-4
 - シスコのデフォルトマクロの適用 12-7
 - 設定時の注意事項 12-3
 - 定義 12-2
 - デフォルト設定 12-3
 - トレーシング 12-3
 - パラメータ値の適用 12-5, 12-7
 - 表示 12-8
 - マクロの適用 12-5
- SNAP 26-2
- SNMP
 - ifIndex 値 31-6
 - MIB
 - サポート A-1
 - 場所 A-4
 - MIB 変数へのアクセス 31-5
 - NMS への Syslog メッセージの制限 30-11
 - TFTP サーバへのアクセス制限 31-16
 - インフォーム
 - traps キーワード 31-12
 - イネーブル化 31-15
 - 説明 31-5
 - ディセーブル化 31-16
 - トラップとの違い 31-6
 - エージェント
 - 説明 31-4
 - ディセーブル化 31-8
 - エンジン ID 31-8
 - 概要 31-2, 31-5
 - クラスタ内 6-15
 - クラスタの管理 6-19
 - グループ 31-7, 31-10
 - コミュニティストリング
 - 概要 31-4
 - クラスタスイッチ 31-4
 - 設定 31-9
 - サポートされるバージョン 31-2
 - システムコンタクトおよびロケーション 31-16
 - ステータスの表示 31-18
 - セキュリティレベル 31-3
 - 設定例 31-17
 - 帯域内管理 1-6
 - 通知 31-5
 - デフォルト設定 31-7
 - トラップ
 - MAC アドレス通知のイネーブル化 7-23
 - イネーブル化 31-12
 - インフォームとの相違 31-6
 - 概要 31-2, 31-5
 - 説明 31-4, 31-5
 - タイプ 31-12
 - ディセーブル化 31-16
 - トラップマネージャ、設定 31-14
 - 認証レベル 31-11
 - ホスト 31-7
 - マネージャ機能 1-5, 31-4
 - ユーザ 31-7, 31-10
 - SNMPv1 31-3
 - SNMPv2C 31-3
 - SNMPv3 31-3
 - SPAN
 - VLAN ベース 28-7
 - 宛先ポート 28-8
 - 概要 1-11, 28-2
 - 受信トラフィック 28-6
 - スタックの変更 28-10
 - ステータスの表示 28-25
 - セッション
 - 宛先 (モニタ側) ポートの削除 28-14
 - 作成 28-12
 - 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 28-17
 - 定義 28-4
 - 入力転送の設定 28-16, 28-23
 - 入力トラフィックのイネーブル化 28-15
 - モニタ対象ポートの指定 28-12
 - セッション限度 28-11

- 設定時の注意事項 28-11
- 送信されたトラフィック 28-6
- 送信元ポート 28-7
- デフォルト設定 28-11
- ポート、制限事項 25-13
- 他の機能との相互作用 28-9
- モニタ側ポート 28-8
- モニタ対象ポート 28-7
- SPAN トラフィック 28-6
- SRR
 - 共有モード 33-14
 - サポート 1-10
 - シェーピング モード 33-14
 - 設定
 - 出力キューの共有ウェイト 33-77
 - 出力キューのシェーピング ウェイト 33-76
 - 入力キューの共有ウェイト 33-70
 - 説明 33-14
- SSH
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 9-39
 - 暗号化方式 9-40
 - スイッチ スタックの考慮事項 5-18, 9-39
 - 設定 9-40
 - 説明 1-6, 9-39
 - ユーザ認証方式、サポート対象 9-40
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 9-44
 - セキュア HTTP クライアントの設定 9-49
 - セキュア HTTP サーバの設定 9-48
 - 設定時の注意事項 9-47
 - 説明 9-44
 - 表示 9-50
- StackWise テクノロジー、Cisco 1-3
 - スタック、スイッチを参照
- standby ip コマンド 39-6
- storm-control コマンド (ブロードキャスト) 25-5
- storm-control コマンド (マルチキャスト) 25-5
- storm-control コマンド (ユニキャスト) 25-5
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブル化 20-18
 - 説明 20-8
 - ディセーブル化 20-18
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 20-15
 - 説明 20-3
 - ディセーブル化 20-15
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 20-16
 - 説明 20-3
 - ディセーブル化 20-16
 - BPDU メッセージ交換 18-3
 - CSUF
 - イネーブル化 20-18
 - 説明 20-6
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 20-18
 - 説明 20-11
 - ディセーブル化 20-19
 - IEEE 802.1D とブリッジ ID 18-5
 - IEEE 802.1D とマルチキャスト アドレス 18-10
 - IEEE 802.1Q トランクでの制約 18-12
 - IEEE 802.1t と VLAN ID 18-5
 - PortFast
 - イネーブル化 20-13
 - 説明 20-2
 - PortFast イネーブル ポートのシャットダウン 20-3
 - UplinkFast
 - イネーブル化 20-17
 - 説明 20-4
 - VLAN ブリッジ 18-13
 - インターフェイス ステート
 - 概要 18-6
 - ディセーブル 18-8
 - 転送 18-7, 18-8
 - ブロッキング 18-7
 - ラーニング 18-8
 - リスニング 18-8
 - インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 20-2
 - オプション機能のデフォルト設定 20-13
 - 下位 BPDU 18-4
 - 概要 18-2
 - カウンタ、クリア 18-26
 - 拡張システム ID
 - 概要 18-5
 - セカンダリ ルート スイッチの影響 18-19
 - 予期しない動作 18-18
 - ルート スイッチへの影響 18-17
 - 間接リンク障害の検出 20-8
 - キープアライブ メッセージ 18-3
 - サポートされている機能 1-7

- サポートされるインスタンス 18-11
 - サポートされるプロトコル 18-11
 - サポートされるモード 18-11
 - サポート対象のオプションの機能 1-7
 - 指定スイッチ、定義 18-4
 - 指定ポート、定義 18-4
 - 冗長接続 18-9
 - スイッチスタックでのルートポートの選択 18-4
 - スタックの変更、作用 18-13
 - ステータスの表示 18-26
 - 設定
 - hello タイム 18-23
 - 最大エージングタイム 18-25
 - スイッチプライオリティ 18-22
 - スパニングツリーモード 18-16
 - セカンダリルートスイッチ 18-19
 - 送信ホールドカウンタ
 - 転送遅延時間 18-24
 - パスコスト 18-21
 - ポートプライオリティ 18-20
 - ルートスイッチ 18-17
 - 設定時の注意事項 18-15, 20-13
 - タイマー、説明 18-23
 - ディセーブル化 18-17
 - デフォルト設定 18-14
 - パスコスト 13-30, 13-31
 - 負荷分散
 - 概要 13-28
 - パスコストの使用 13-30
 - ポートプライオリティ 13-28
 - ポートプライオリティ 13-29
 - マルチキャストアドレス、影響 18-10
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性 18-12
 - 優位 BPDU 18-3
 - ルートガード
 - イネーブル化 20-19
 - 説明 20-11
 - ルートスイッチ
 - 拡張システム ID の影響 18-5, 18-17
 - 設定 18-17
 - 選択 18-4
 - 予期しない動作 18-18
 - ルートスイッチとしての選択の防止 20-11
 - ルートポート選択の時間短縮 20-5
 - ルートポート、定義 18-4
 - ループガード
 - イネーブル化 20-20
 - 説明 20-12
 - レイヤ 2 プロトコルトンネリング 17-9
 - SunNet Manager 1-5
 - SVI
 - IP ユニキャストルーティング 35-6
 - VLAN 間のルーティング 13-3
 - VLAN の接続 11-10
 - 定義 11-5
 - ルータ ACL 32-5
 - Switch Database Management
 - SDM を参照
 - Switched Port Analyzer
 - SPAN を参照
 - switchport block multicast コマンド 25-9
 - switchport block unicast コマンド 25-9
 - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 13-22, 17-8
 - switchport protected コマンド 25-7
 - switchport コマンド 11-17
 - syslog
 - システムメッセージのロギングを参照
- ## T
- TACACS+
 - アカウントティング、定義 9-12
 - 概要 9-11
 - 許可、定義 9-12
 - クラスタ内 6-17
 - サーバの識別 9-14
 - サポート 1-9
 - 設定
 - アカウントティング 9-18
 - 許可 9-17
 - 認証鍵 9-14
 - ログイン認証 9-15
 - 設定の表示 9-18
 - デフォルト設定 9-14
 - 動作 9-13
 - 認証、定義 9-12
 - ユーザがアクセスするサービスの追跡 9-18
 - ユーザへのサービスの制限 9-17
 - tar ファイル
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6

抽出 B-8
 内容の表示 B-7
 TDR 1-11
 Telnet
 管理インターフェイスへのアクセス 2-11
 接続数 1-6
 パスワードの設定 9-7
 Terminal Access Controller Access Control System Plus
 TACACS+ を参照
 TFTP
 イメージファイル
 アップロード B-26
 サーバの準備 B-23
 削除 B-25
 ダウンロード B-24
 コンフィギュレーションファイル
 アップロード B-12
 サーバの準備 B-11
 ダウンロード B-12
 サーバのアクセス制限 31-16
 自動設定の設定 3-6
 ベースディレクトリのコンフィギュレーション
 ファイル 3-7
 TFTP サーバ 1-5
 Time Domain Reflector
 TDR を参照
 time-range コマンド 32-18
 ToS 1-9
 traceroute コマンド 43-22
 IP traceroute も参照
 traceroute、レイヤ 2
 ARP 43-20
 CDP 43-20
 IP アドレスおよびサブネット 43-20
 MAC アドレスおよび VLAN 43-20
 使用上の注意事項 43-20
 説明 43-20
 ブロードキャストトラフィック 43-20
 ポートに複数のデバイス 43-21
 マルチキャストトラフィック 43-20
 ユニキャストトラフィック 43-20
 Type of Service
 ToS を参照

U

UDLD

イネーブル化
 インターフェイス単位 27-7
 グローバル 27-6
 インターフェイスのリセット 27-8
 エコーを用いた検出メカニズム 27-3
 概要 27-2
 近接データベース 27-3
 サポート 1-6
 ステータスの表示 27-8
 設定時の注意事項 27-5
 ディセーブル化
 インターフェイス単位 27-7
 グローバル 27-6
 光ファイバインターフェイス 27-6
 デフォルト設定 27-5
 リンク検出メカニズム 27-2
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-12
 UDLD によりシャットダウンされたインターフェイス
 のリセット 27-8
 UDP、設定 35-17
 UNIX Syslog サーバ
 サポートされているファシリティ 30-13
 デーモン設定 30-12
 メッセージロギングの設定 30-13

UplinkFast

イネーブル化 20-17
 サポート 1-7
 説明 20-4
 ディセーブル化 20-17

User Datagram Protocol

UDP、設定を参照

V

VLAN

1006 ~ 4094 の ID の設定 13-15
 config-vlan モードでの作成 13-10
 RSPAN による送信元トラフィックの制限 28-24
 SPAN による送信元トラフィックの制限 28-17
 STP および IEEE 802.1Q トランク 18-12
 SVI による接続 11-10
 VLAN データベースへの追加 13-10
 VLAN ブリッジ STP 18-13, 42-2

- VLAN 設定モードでの作成 13-11
- VTP モード 14-4
- 拡張範囲 13-1, 13-15
- 機能 1-7
- サービスプロバイダー ネットワークのカスタマー番号 17-3
- 削除 13-12
- サポート 13-3
- サポート数 1-7
- 図 13-2
- スイッチ スタック内 13-8
- スタティック アクセス ポート 13-13
- スパンニングツリー インスタンス 13-3, 13-8, 13-16
- 設定 13-1
- 設定オプション 13-8
- 設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 13-7, 13-15
- 説明 11-2, 13-2
- ダイナミック アドレスの有効期間 18-10
- 追加 13-10
- デフォルト設定 13-9
- トークンリング 13-7
- トラフィック 13-3
- トランク上での許可 13-25
- 内部 13-16
- ネイティブ、設定 13-27
- パラメータ 13-6
- 表示 13-19
- 標準範囲 13-1, 13-6
- 変更 13-10
- ポート メンバーシップ モード 13-4
- マルチキャスト 24-20
- VLAN 1 最小化 13-25
- VLAN 1、トランク ポート上でのディセーブル化 13-25
- VLAN ACL
 - VLAN マップを参照
- vlan database コマンド 13-9
- vlan dot1q tag native コマンド 17-6
- VLAN ID、検出 7-28
- VLAN Management Policy Server
 - VMPS を参照
- VLAN Query Protocol
 - VQP を参照
- VLAN Trunk Protocol
 - VTP を参照
- VLAN 管理ドメイン 14-3
- VLAN 間ルーティング 1-10, 35-3
- vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 13-8
- VLAN 設定
 - 起動時 13-9
 - 保存 13-9
- VLAN 設定モード 2-3, 13-9
- VLAN 単位スパンニングツリー
 - PVST+ を参照
- VLAN データベース
 - VLAN 設定の保存 13-9
 - VTP 14-1
 - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 13-9
 - 保存された VLAN 13-6
- VLAN トランク 13-20
- VLAN の削除 13-12
- VLAN フィルタリング、SPAN 28-8
- VLAN マップ
 - ACL および VLAN マップの例 32-34
 - 一般的な使用法 32-36
 - サーバへのアクセス拒否例 32-37
 - 削除 32-36
 - 作成 32-33
 - サポート 1-8
 - 設定 32-31
 - 設定時の注意事項 32-32
 - 定義 32-3
 - 適用 32-35
 - 配線クローゼットの構成例 32-36
 - パケットの拒否および許可 32-33
 - 表示 32-43
- VLAN マップ エントリ、順序 32-32
- VLAN メンバーシップ
 - 確認 13-35
 - モード 13-4
- vlan.dat ファイル 13-6
- vlan-assignment 応答、VMPS 13-32
- VMPS
 - VLAN への MAC アドレスのマッピング 13-32
 - 管理 13-36
 - 構成例 13-37
 - サーバアドレスの入力 13-34
 - 再確認インターバル、変更 13-36
 - 再試行回数、変更 13-36
 - 設定時の注意事項 13-33
 - 説明 13-32

- ダイナミック ポート メンバーシップ
 - 再確認 13-36
 - 説明 13-33
 - トラブルシューティング 13-37
 - デフォルト設定 13-33
 - 表示 13-36
 - メンバーシップの確認 13-35
 - Voice over IP 15-2
 - VPN
 - VPN を参照
 - サービスプロバイダー ネットワーク 35-67
 - 転送 35-69
 - ルーティングの設定 35-71
 - ルート 35-68
 - VPN ルーティングおよび転送テーブル
 - VRF を参照
 - VQP 1-7, 13-32
 - VRF
 - 定義 35-69
 - テーブル 35-67
 - VTP
 - アドバタイズ 13-23, 14-4
 - 拡張範囲 VLAN 14-2
 - クライアント モード、設定 14-12
 - コンフィギュレーション リビジョン番号
 - 注意事項 14-16
 - リセット 14-17
 - サーバ モード、設定 14-11
 - サポート 1-7
 - 使用方法 14-2
 - 整合性検査 14-5
 - 設定
 - VLAN 設定モード 14-9
 - イネーブル EXEC モード 14-8
 - クライアント モード 14-12
 - グローバル コンフィギュレーション モード 14-8
 - サーバ モード 14-11
 - 注意事項 14-9
 - トランスペアレント モード 14-13
 - 保存 14-9
 - 要件 14-10
 - 設定の要件 14-10
 - 設定モード オプション 14-8
 - 説明 14-2
 - ディセーブル化 14-13
 - デフォルト設定 14-8
 - 統計情報 14-17
 - トークンリングのサポート 14-5
 - ドメイン 14-3
 - ドメインへのクライアントの追加 14-16
 - ドメイン名 14-9
 - トランスペアレント モード、設定 14-13
 - バージョン 1 14-5
 - バージョン 2
 - イネーブル化 14-14
 - 概要 14-5
 - 設定時の注意事項 14-10
 - ディセーブル化 14-15
 - バージョン、注意事項 14-10
 - パスワード 14-10
 - 表示 14-17
 - 標準範囲 VLAN 14-2
 - プルーニング
 - イネーブル化 14-15
 - 概要 14-5
 - サポート 1-7
 - 設定例 14-6
 - ディセーブル化 14-15
 - プルーニング適格リスト、変更 13-26
 - モード
 - 移行 14-4
 - クライアント 14-4, 14-12
 - サーバ 14-4, 14-11
 - トランスペアレント 14-4, 14-13
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-9
 - VTP バージョン 2 における整合性検査 14-5
- W**
- Weighted Tail Drop
 - WTD を参照
 - WTD
 - サポート 1-10
 - スレッシュホールドの設定
 - 出力キューセット 33-72
 - 入力キュー 33-68
 - 説明 33-13
- X**
- XMODEM プロトコル 43-2

- あ
- アカウントティング
 - 802.1x 10-31
 - IEEE 802.1x 10-5
 - RADIUS による 9-29
 - TACACS+ による 9-12, 9-18
 - アクセス
 - テンプレート 8-2
 - アクセス グループ
 - インターフェイスへの IPv4 ACL の適用 32-22
 - レイヤ 2 32-22
 - レイヤ 3 32-22
 - アクセス テンプレート 8-2
 - アクセス ポート
 - スイッチ クラスタ内 6-10
 - 定義 11-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-12
 - アクセス リスト
 - ACL を参照
 - アクセス拒否の応答、VMPS 13-32
 - アクセス制御エントリ
 - ACE を参照
 - アクセスの制限
 - NTP サービス 7-9
 - RADIUS 9-19
 - TACACS+ 9-11
 - 概要 9-2
 - パスワードおよび権限レベル 9-3
 - アクセス不能認証バイパス 10-12
 - アクセス方法
 - クラスタ、スイッチ 6-14
 - コマンドスイッチ 6-12
 - スイッチ クラスタ 6-14
 - メンバー スイッチ 6-14
 - アクティブ リンク 21-2
 - アクティブ ルータ 39-2
 - アグリゲータ テンプレート 5-10, 8-2
 - アップロード
 - イメージ ファイル
 - FTP の使用 B-30
 - RCP の使用 B-35
 - TFTP の使用 B-26
 - 準備 B-23, B-27, B-32
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 34-9
 - 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 34-8
 - 宛先アドレス
 - IPv6 ACL 内 38-5
 - 宛先のアドレス、IPv4 ACL 32-13
 - アドバタイズ
 - CDP 26-2
 - RIP 35-22
 - VTP 13-23, 14-4
 - アトリビュート、RADIUS
 - ベンダー固有 9-30, 9-32
 - アドレス
 - MAC アドレス テーブルの表示 7-28
 - MAC、検出 7-28
 - スタティック
 - 追加および削除 7-25
 - 定義 7-21
 - ダイナミック
 - エージング タイムの変更 7-22
 - 削除 7-23
 - 定義 7-21
 - デフォルトの有効期間 18-10
 - 有効期間の短縮 18-10
 - ラーニング 7-21
 - マルチキャスト
 - STP アドレス管理 18-10
 - グループ アドレスの範囲 40-3
 - アドレス解決 7-28, 35-11
 - アドレスのエイリアス 24-2
 - アベイラビリティ機能 1-6
 - アラーム、RMON 29-3
 - 暗号化ソフトウェア イメージ
 - Kerberos 9-33
 - SSH 9-39
 - SSL 9-44
 - スイッチ スタックの考慮事項 5-2, 5-18, 9-39
 - 暗号化、CipherSuite 9-46
 - 安全なリモート接続 9-39

- い**
- イーサネット VLAN
 - 追加 13-10
 - デフォルト値および範囲 13-10
 - 変更 13-10
 - 一時的な自己署名証明書 9-45
 - イネーブル EXEC モード 2-2
 - イネーブル シークレット パスワード 9-4
 - イネーブル パスワード 9-4
 - イベント、RMON 29-3
 - インターネット プロトコル バージョン 6
 - IPv6 を参照
 - インターフェイス
 - IPv4 および IPv6 の設定 36-14
 - カウンタ、クリア 11-32
 - 管理 1-5
 - 記述名、追加 11-26
 - 記述、追加 11-26
 - 再起動 11-32
 - サポート 11-11
 - 自動 MDIX、設定 11-22
 - シャットダウン 11-32
 - 情報の表示 11-31
 - ステータス 11-31
 - 設定
 - 手順 11-12
 - 設定時の注意事項
 - 10 ギガビット イーサネット 11-18
 - デュプレックスおよび速度 11-19
 - 説明 11-26
 - 速度およびデュプレックス、設定 11-20
 - タイプ 11-2
 - デフォルト設定 11-17
 - 範囲 11-13
 - 番号 11-11
 - 表示 11-31
 - 物理的、識別 11-11
 - フロー制御 11-21
 - レンジマクロ 11-14
 - インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
 - インターフェイス タイプ 11-11
 - インターフェイスの shutdown コマンド 11-32
 - インターフェイスのクリア 11-32
- う**
- ウィザード 1-3
- え**
- 永続的な自己署名証明書 9-45
 - エージング タイム
 - MAC アドレス テーブル 7-22
 - 最大
 - MSTP 用 19-26, 19-27
 - STP 用 18-24, 18-25
 - 短縮
 - MSTP 用 19-26
 - STP 用 18-10, 18-24
- お**
- オプション、管理 1-5
 - 音声 VLAN
 - Cisco 7960 IP Phone、ポート接続 15-2
 - IP Phone の音声トラフィック、説明 15-3
 - IP Phone のデータトラフィック、説明 15-3
 - IP Phone への接続 15-5
 - 音声トラフィックに対するポートの設定
 - 802.1p プライオリティ タグ付きフレーム 15-6
 - 802.1Q フレーム 15-6
 - 設定時の注意事項 15-4
 - 説明 15-2
 - データトラフィック用の IP Phone の設定
 - 着信フレームの CoS の無効化 15-7
 - 着信フレームの CoS プライオリティの信頼 15-7
 - デフォルト設定 15-4
 - 表示 15-8
- か**
- 階層型ポリシー マップ 33-8
 - 設定 33-52
 - 設定時の注意事項 33-33
 - 説明 33-11
 - ガイドモード 1-3
 - 回復手順 43-1
 - 外部ネイバ、BGP 35-49

- カウンタ、インターフェイスのクリア 11-32
- 鍵発行局
 - KDC を参照
- 拡張 crashinfo ファイル 43-30
- 拡張 IP サービス イメージ 36-1
- 拡張システム ID
 - MSTP 19-20
 - STP 18-5, 18-17
- 拡張範囲 VLAN
 - 作成 13-16
 - 設定 13-15
 - 設定時の注意事項 13-15
 - 定義 13-1
 - 内部 VLAN ID による作成 13-18
- 隔離 VLAN 16-2, 16-3
- 隔離ポート 16-3
- カスタマー エッジ デバイスの複数の VPN ルーティング / 転送
 - マルチ VRF CE を参照
- 仮想 IP アドレス
 - クラスタ スタンバイ グループ 6-12
 - コマンド スイッチ 6-12
- 仮想ルータ 39-2, 39-3
- 簡易ネットワーク管理プロトコル
 - SNMP を参照
- 環境変数、機能 3-16
- 間接リンク障害の検出、STP 20-8
- 管理 VLAN
 - スイッチ クラスタに関する考慮事項 6-8
 - 複数の管理 VLAN を介した検出 6-8
- 管理アクセス
 - 帯域外コンソール ポート接続 1-6
 - 帯域内
 - CLI セッション 1-6
 - SNMP 1-6
 - デバイス マネージャ 1-6
 - ブラウザ セッション 1-6
- 管理オプション
 - CLI 2-1
 - CNS 4-2
 - Network Assistant 1-3
 - 概要 1-5
 - クラスタ化 1-4
 - スイッチ スタック 1-3
- 管理機能 1-5
- 管理距離
 - OSPF 35-34
 - 定義 35-90
 - ルーティング プロトコルのデフォルト 35-80
- き
- キープアライブ メッセージ 18-3
- ギガビット モジュール
 - SFP を参照
- 起動
 - 起動プロセス 3-2
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - ブート ロード、機能 3-2
- 機能、非互換 25-13
- 逆アドレス解決 35-11
- 許可
 - RADIUS による 9-28
 - TACACS+ による 9-12, 9-17
- 許可 VLAN リスト 13-25
- 近接ディスクバリエーションおよび回復、EIGRP 35-38
- く
- クエリーの送信、IGMP 24-14
- クエリー、IGMP 24-4
- クライアント モード、VTP 14-4
- クラス マップ、QoS
 - 設定 33-46
 - 説明 33-7
 - 表示 33-80
- クラスタ スタンバイ グループ
 - HSRP グループ 39-11
 - HSRP も参照
 - 仮想 IP アドレス 6-12
 - 考慮事項 6-12
 - 自動リカバリ 6-13
 - 定義 6-2
 - 要件 6-3
- クラスタおよび HSRP グループのバインド 39-11
- クラスタ要件 xliii
- クラスタ、スイッチ
 - LRE プロファイルに関する考慮事項 6-17
 - アクセス方法 6-14

- 管理
 - CLI の使用 6-18
 - SNMP の使用 6-19
- 計画 6-5
- 候補スイッチ、コマンドスイッチ、クラスタスタンバイグループ、メンバースイッチ、スタンバイコマンドスイッチも参照
- 互換性 6-5
- 自動検出 6-5
- 自動リカバリ 6-11
- 説明 6-1
- プランニングの考慮事項
 - CLI 6-18
 - IP アドレス 6-14
 - LRE プロファイル 6-17
 - RADIUS 6-17
 - SNMP 6-15, 6-19
 - TACACS+ 6-17
 - 自動検出 6-5
 - 自動リカバリ 6-11
 - スイッチスタック 6-15
 - パスワード 6-15
 - ホスト名 6-14
- 利点 1-3
- クラスレスルーティング 35-9
- グローバル Leave、IGMP 24-14
- グローバルコンフィギュレーションモード 2-2
- クロススタック EtherChannel
 - サポート 1-6
- 図 34-4
- 設定
 - レイヤ 2 インターフェイス 34-14
 - レイヤ 3 物理インターフェイス 34-17
- 設定時の注意事項 34-14
- 説明 34-3
- クロススタック UplinkFast、STP
 - Fast Uplink Transition Protocol 20-7
 - イネーブル化 20-18
 - 高速コンバージェンスを実行させるイベント 20-8
 - サポート 1-7
 - 説明 20-6
 - ディセーブル化 20-18
 - 標準コンバージェンスのイベント 20-8
- クロック
 - システムクロックを参照
- け
 - ケーブル、単一方向リンクのモニタ 27-2
 - ゲスト VLAN と 802.1x 10-10
 - 権限レベル
 - 回線のデフォルトの変更 9-10
 - 概要 9-3, 9-8
 - コマンドスイッチ 6-18
 - コマンドの設定 9-9
 - 終了 9-10
 - メンバースイッチとの対応 6-18
 - ログイン 9-10
- こ
 - 構成例、ネットワーク 1-15
 - 高速コンバージェンス 19-12
 - 候補スイッチ
 - コマンドスイッチ、クラスタスタンバイグループ、メンバースイッチも参照
 - 自動検出 6-5
 - 定義 6-4
 - 要件 6-4
 - 互換性、機能 25-13
 - 互換性、ソフトウェア
 - スタック、スイッチを参照
 - 固定学習 25-11
 - コマンド
 - no および default 2-5
 - 省略 2-4
 - コマンドスイッチ
 - アクセス方法 6-12
 - アクティブ (AC) 6-11
 - 回復
 - コマンドスイッチ障害からの回復 6-11, 43-11
 - 切断されたメンバー接続 43-15
 - 交換
 - クラスタメンバー 43-11
 - 他のスイッチ 43-13
 - 候補スイッチ、クラスタスタンバイグループ、メンバースイッチ、スタンバイコマンドスイッチも参照
 - 冗長
 - スタンバイ (SC) 6-11
 - 設定の矛盾 43-15
 - 定義 6-2

- パスワード 権限レベル 6-18
- パッシブ (PC) 6-11
- プライオリティ 6-11
- 要件 6-3
- コマンド モード 2-2
- コマンド入力時のエラー メッセージ 2-5
- コマンドの省略形 2-4
- コマンドライン インターフェイス
 - CLI を参照
- コマンド、権限レベルの設定 9-9
- コミュニティ VLAN 16-2, 16-3
- コミュニティ ストリング
 - SNMP 6-15
 - 概要 31-4
 - クラスタ スイッチ 31-4
 - クラスタ内 6-15
 - 設定 6-15, 31-9
- コミュニティ ポート 16-3
- コミュニティ リスト、BGP 35-59
- 混合ポート
 - 設定 16-13
 - 定義 16-3
- コンソール ポート、接続 2-11
- コンフィギュレーション ファイル
 - DHCP による取得 3-8
 - TFTP サーバ アクセス制限 31-16
 - アップロード
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 格納されたコンフィギュレーションの削除 B-20
 - コピー時の無効な組み合わせ B-5
 - 作成および使用に関する注意事項 B-9
 - システム コンタクトおよびロケーション情報 31-16
 - スタートアップ コンフィギュレーションのクリア B-20
 - 説明 B-9
 - タイプおよび場所 B-10
 - ダウンロード
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 自動 3-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - テキスト エディタによる作成 B-10
 - デフォルト名 3-13
 - パスワード回復ディセーブル化に関する考慮事項 9-6
 - ファイル名の指定 3-14
 - コンフィギュレーション設定、保存 3-12
- さ
- サーバモード、VTP 14-4
- サービス クラス
 - CoS を参照
- サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP 19-1
- サービス品質
 - QoS を参照
- サービスプロバイダー ネットワーク
 - EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-10
 - IEEE 802.1Q トンネリング 17-2
 - カスタマー VLAN 17-3
 - レイヤ 2 プロトコル アクセス 17-9
- 再確認インターバル、VMPS、変更 13-36
- 再試行回数、VMPS、変更 13-36
- 最大エイジング タイム
 - MSTP 19-26
 - STP 18-25
- 最大ホップ カウント、MSTP 19-27
- サブドメイン、プライベート VLAN 16-2
- サブネットゼロ 35-8
- サブネット マスク 35-8
- し
- 時刻
 - NTP およびシステム クロックを参照
- シスコ インテリジェント電力管理 11-7
- システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング 17-6
- システム クロック
 - NTP も参照
 - 概要 7-2
 - 設定
 - 手動 7-13

- タイムゾーン 7-13
- 夏時間 7-14
- 日時の表示 7-13
- システムプロンプト、デフォルト設定 7-16
- システムメッセージのロギング
 - level キーワード、説明 30-10
 - Syslog 機能 1-11
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 30-13
 - デーモンの設定 30-12
 - ロギングファシリティの設定 30-13
 - イネーブル化 30-5
 - エラーメッセージの重大度の定義 30-10
 - 概要 30-2
 - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 30-9
 - 出力先デバイスの設定 30-6
 - スタックの変更、作用 30-2
 - 設定の表示 30-14
 - タイムスタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 30-8
 - ディセーブル化 30-5
 - デフォルト設定 30-4
 - ファシリティキーワード、説明 30-13
 - メッセージ形式 30-3
 - メッセージの制限 30-11
 - ログメッセージの同期化 30-7
- システムリソースの最適化 8-2
- システム名
 - DNS も参照
 - 手動設定 7-16
 - デフォルト設定 7-16
- 実行コンフィギュレーション、保存 3-12
- 自動 MDIX
 - 設定 11-22
 - 説明 11-22
- 自動 QoS
 - QoS を参照
- 自動 RP、検出 40-5
- 自動検出
 - CDP を参照
 - 考慮事項
 - CDP 非対応デバイス 6-7
 - 新たなスイッチの接続 6-10
 - 管理 VLAN 6-8
 - クラスタ非対応デバイス 6-7
 - 接続 6-5
 - 非候補デバイスを経由 6-8
 - 複数の VLAN 6-7
 - ルーテッドポート 6-9
 - スイッチクラスタ内 6-5
- 自動検出、ポート速度 1-4
- 自動設定 3-4
- 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 11-19
 - デュプレックスモード 1-4
 - 不一致 43-15
- 自動リカバリ、クラスタ 6-11
 - HSRP も参照
- 重大度、システムメッセージの定義 30-10
- 集約アドレス、BGP 35-62
- 集約可能グローバルユニキャストアドレス 36-3
- 集約ポート
 - EtherChannel を参照
- 集約ポリサー 33-59
- 集約ポリシング 1-9
- 照合
 - IPv6 ACL 38-3
 - 照合、IPv4 ACL 32-8
- 冗長性
 - EtherChannel 34-3
 - HSRP 39-2
 - STP
 - パスコスト 13-30
 - バックボーン 18-9
 - ポートプライオリティ 13-28
 - マルチドロップバックボーン 20-6
- 冗長リンクと UplinkFast 20-17
- 情報のアップグレード
 - リリースノートを参照
- 初期設定
 - Express Setup 1-3
 - 『Getting Started Guide』およびハードウェアインストールガイドも参照
 - デフォルト 1-12
- 資料、関連 xliii
- 侵入検知システム
 - IDS 装置を参照
- 信頼できるタイムソース、説明 7-3
- 信頼できるトランスポートプロトコル、EIGRP 35-38
- 信頼点、CA 9-44

す

- スイッチ クラスタリング テクノロジー 6-1
 - クラスタも参照、スイッチ
- スイッチ スタックの新しいメンバーの割り当て 5-8
- スイッチ スタックのオフライン設定 5-8
- スイッチ スタックの自動的なアップグレード (自動アップグレード) 5-12
- スイッチ スタックの自動的なアドバイス (自動アドバイス) 5-13
- スイッチ スタックの自動的なコピー (自動コピー) 5-12
- スイッチ ソフトウェアの機能 1-2
- スイッチ プライオリティ
 - MSTP 19-24
 - STP 18-22
- スイッチ ポート 11-3
- スイッチ 仮想インターフェイス
 - SVI を参照
- スイッチ 間リンク
 - ISL を参照
- スイッチド パケット、ACL 上 32-40
- スイッチのコンソール ポート 1-6
- スーパー ネット 35-9
- スケジューリングされたリロード 3-18
- スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - クリア B-20
 - コンフィギュレーション ファイル
 - 自動ダウンロード 3-13
 - ファイル名の指定 3-14
 - デフォルトのブート コンフィギュレーション 3-13
- スタック プロトコル バージョン 5-11
- スタック マスター
 - IPv6 36-8
 - 再選択 5-5
 - スタック、スイッチを参照
 - 選択 5-5
 - 定義 5-2
 - ブリッジ ID (MAC アドレス) 5-6
- スタック メンバー
 - IPv6 36-8
 - 新しいメンバーの割り当て 5-23
 - 交換 5-16
- 情報の表示 5-24
- スタック、スイッチを参照
- 設定
 - プライオリティ値 5-22
 - メンバー番号 5-22
- 定義 5-2
- 特定のメンバーへの CLI アクセス 5-24
- 番号 5-7
- プライオリティ値 5-7
- スタック メンバーのアクセス 5-24
- スタック メンバー番号 11-11
- スタックの変更
 - 影響
 - IPv6 ルーティング 36-8
- スタックの変更、作用
 - 802.1x ポートベースの認証 10-15
 - ACL の設定 32-7
 - CDP 26-2
 - EtherChannel 34-10
 - HSRP 39-4
 - IGMP スヌーピング 24-7
 - IP ルーティング 35-5
 - IPv6 ACL 38-3
 - MAC アドレス テーブル 7-22
 - MSTP 19-9
 - MVR 24-20
 - SDM テンプレートの選択 8-4
 - SNMP 31-2
 - SPAN および RSPAN 28-10
 - STP 18-13
 - VLAN 13-8
 - VTP 14-7
 - クロススタック EtherChannel 34-14
 - システム メッセージのログ 30-2
 - スイッチ クラスタ 6-15
 - 代替ブリッジング 42-3
 - ポート セキュリティ 25-20
 - マルチキャスト ルーティング 40-9
- スタック、スイッチ
 - CDP の考慮事項 26-2
 - HSRP の考慮事項 39-4
 - IPv6 36-8
 - MAC アドレス 5-21
 - MAC アドレスの考慮事項 7-22
 - STP
 - サポートされるインスタンス 18-11

- スタック ルート スイッチの選択 18-4
- ブリッジ ID 18-3
- ルート ポートの選択 18-4
- アップグレード B-36
- オフライン設定
 - 新しいメンバーの割り当て 5-23
 - 説明 5-8
 - 割り当てられたスイッチの交換の影響 5-10
 - 割り当てられたスイッチの削除による影響 5-10
 - 割り当てられたスイッチの追加の影響 5-8
 - 割り当てられたスイッチ、定義 5-8
 - 割り当てられた設定、定義 5-8
- 管理 5-1
- 管理接続 5-17
- クラスタ内 6-15
- 互換性のないソフトウェアおよびイメージのアップグレード 5-15, B-36
- 互換性、ソフトウェア 5-11
- 固定 MAC アドレス タイマーのイネーブル化 5-21
- コンフィギュレーション ファイル 5-16
- サポートされる MSTP インスタンス 18-11
- システム プロンプトの考慮事項 7-16
- システム メッセージ
 - 出力内のホスト名 30-2
 - リモート モニタ 30-2
- システム全体の設定の考慮事項 5-17
- 自動アップグレード 5-12
- 自動アドバイス 5-13
- 自動コピー 5-12
- 障害の発生したメンバーの交換 5-16
- 情報の表示 5-24
- 情報の割り当て
 - 新しいメンバーの割り当て 5-23
 - プライオリティ値 5-22
 - メンバー番号 5-22
- スタック プロトコル バージョン 5-11
- スタック マスターおよびスタック メンバーも参照
- 設定のシナリオ 5-19
- 説明 5-2
- ソフトウェア イメージ バージョン 5-11
- ソフトウェアの互換性 5-11
- デフォルト設定 5-21
- 特定のメンバーへの CLI アクセス 5-24
- バージョン不一致 (VM) モード
 - auto-upgrade による自動的なアップグレード 5-12
 - 自動アドバイスによる手動アップグレード 5-13
 - 設定例 5-13
 - 説明 5-12
- パーティション化 5-4, 43-10
- ハードウェア互換性と SDM 不一致モード 5-10
- ブリッジ ID 5-6
- マージ 5-4
- マルチキャスト ルーティング、スタック マスター およびメンバーの役割 40-9
- メンバーから別のメンバーへのイメージ ファイルのコピー B-36
- メンバーシップ 5-3
- 利点 1-3
- 割り当てられたスイッチ
 - 交換 5-10
 - 削除 5-10
 - 追加 5-8
- スタティック IP ルーティング 1-10
- スタティック MAC アドレス指定 1-8
- スタティック VLAN メンバーシップ 13-3
- スタティック アクセス ポート
 - VLAN への割り当て 13-13
 - 定義 11-3, 13-4
- スタティック アドレス
 - アドレスを参照
- スタティック ルーティング 35-4
- スタティック ルート
 - IPv6 の設定 36-17
 - 設定 35-80
- スタブ エリア、OSPF 35-33
- スタンバイ グループ、クラスタ
 - クラスタ スタンバイ グループおよび HSRP を参照
- スタンバイ コマンド スイッチ
 - 仮想 IP アドレス 6-12
 - クラスタ スタンバイ グループおよび HSRP を参照
 - 考慮事項 6-12
 - 定義 6-2
 - プライオリティ 6-11
 - 要件 6-3
- スタンバイ タイマー、HSRP 39-10
- スタンバイ リンク 21-2
- スタンバイ ルータ 39-2
- ステートレス自動設定 36-5

- ストーム制御
 - サポート 1-4
 - スレッシュホールド 25-2
 - 設定 25-4
 - 説明 25-2
 - ディセーブル化 25-6
 - 表示 25-21
 - ストラタム、NTP 7-3
 - スヌーピング、IGMP 24-2
 - スパニングツリープロトコル
 - STP を参照
 - スパニングツリーとネイティブ VLAN 13-23
 - スプリット ホライズン、RIP 35-25
 - スレッシュホールド、トラフィック レベル 25-3
- せ**
- 制限付き VLAN
 - IEEE 802.1x を使用 10-11
 - 設定 10-28
 - 説明 10-11
 - 成功の応答、VMPS 13-32
 - セカンダリ VLAN 16-2
 - セキュア HTTP クライアント
 - 設定 9-49
 - 表示 9-50
 - セキュア HTTP サーバ
 - 設定 9-48
 - 表示 9-50
 - セキュア MAC アドレス
 - 最大数 25-11
 - 削除 25-18
 - スイッチ スタック 25-20
 - タイプ 25-10
 - セキュア ポート
 - スイッチ スタック 25-20
 - 設定 25-10
 - セキュリティ機能 1-8
 - セキュリティ、ポート 25-10
 - 接続問題 43-18, 43-20, 43-22
 - 接続、安全なリモート 9-39
 - 設定可能 leave タイマー、IGMP 24-6
 - 設定時の注意事項、マルチ VRF CE 35-69
 - 設定の矛盾、メンバーの接続の回復 43-15
 - 設定例
 - ネットワーク構成 1-15
 - 表記法 xlii
 - 設定ログ 2-6
 - 設定、初期
 - Express Setup 1-3
 - 『Getting Started Guide』 およびハードウェア インストール ショーガイドも参照
 - デフォルト 1-12
 - セットアップ プログラム
 - 故障したコマンド スイッチの交換 43-11, 43-13
 - 選択
 - スタック マスターを参照
- そ**
- 送信ホールド カウント
 - STP を参照
 - 送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 34-9
 - 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 34-8
 - 送信元 / 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 34-9
 - 送信元 / 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 34-9
 - 送信元アドレス
 - IPv6 ACL 内 38-5
 - 送信元のアドレス、IPv4 ACL 内 32-13
 - 即時脱退処理、IGMP 24-5
 - イネーブル化 37-10
 - ソフトウェア イメージ
 - tar ファイル形式、説明 B-22
 - 回復手順 43-2
 - ダウンロードおよびアップロードも参照
 - フラッシュ内の場所 B-22
 - リロードのスケジューリング 3-18
 - ソフトウェア イメージのアップグレード
 - ダウンロードを参照
 - ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 43-2
 - ソフトウェアの互換性
 - スタック、スイッチを参照
 - ソフトウェアのリロード 3-18
- た**
- 対象読者 xli
 - 代替ブリッジング
 - STP
 - hello BPDU インターバル 42-9
 - VLAN ブリッジ STP 42-3

- VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリティ 42-7
- インターフェイス プライオリティ 42-7
- インターフェイスでのディセーブル化 42-11
- キープアライブ メッセージ 18-3
- 最大アイドル時間 42-10
- 転送遅延時間 42-9
- パス コスト 42-8
- SVI およびルーテッド ポート 42-2
- VLAN ブリッジ STP 18-13
- インターフェイスの接続 11-10
- 概要 42-2
- サポート 1-10
- サポートされないプロトコル 42-4
- スタックの変更、作用 42-3
- 設定時の注意事項 42-4
- 説明 42-2
- デフォルト設定 42-4
- ブリッジグループ
 - 機能 42-2
 - 削除 42-6
 - 作成 42-5
 - サポート数 42-5
 - 説明 42-2
 - 表示 42-12
- ブリッジテーブル
 - クリア 42-12
 - 表示 42-12
- フレーム転送
 - パケットの転送 42-2
 - パケットのフラッディング 42-2
 - プロトコル、サポートされない 42-4
- 保護ポート 42-5
- ダイナミック ARP 検査
 - ARP ACL および DHCP スヌーピング エントリのプライオリティ 23-5
 - ARP キャッシュ ポイズニング 23-2
 - ARP スプーフィング攻撃 23-2
 - ARP パケットのレート制限
 - errdisable ステート 23-5
 - 設定 23-11
 - 説明 23-5
 - ARP 要求、説明 23-2
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 23-3
 - DoS 攻撃、防止 23-11
- man-in-the-middle 攻撃、説明 23-2
- インターフェイス信頼状態 23-3
- 機能 23-2
- クリア
 - 統計情報 23-16
 - ログ バッファ 23-16
- 設定
 - DHCP 以外の環境の ACL 23-9
 - DHCP 環境 23-7
 - 着信 ARP パケットのレート制限 23-5, 23-11
 - ログ バッファ 23-13
 - 設定時の注意事項 23-6
 - 説明 23-2
 - 妥当性チェック、実施 23-12
 - デフォルト設定 23-6
- 統計情報
 - クリア 23-16
 - 表示 23-16
- ネットワーク セキュリティ問題およびインターフェイスの信頼状態 23-3
- 廃棄されたパケットのロギング、説明 23-5
- 表示
 - ARP ACL 23-16
 - 信頼状態およびレート制限 23-16
 - 設定および動作状態 23-16
 - 統計情報 23-16
 - ログ バッファ 23-16
 - レート制限を超えた場合の errdisable ステート 23-5
- ログ バッファ
 - クリア 23-16
 - 設定 23-13
 - 表示 23-16
- ダイナミック VLAN メンバーシップの再確認 13-35
- ダイナミック アクセス ポート
 - 設定 13-35
 - 定義 11-3
 - 特性 13-4
- ダイナミック アドレス
 - アドレスを参照
- ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ
 - 再確認 13-35, 13-36
 - 接続タイプ 13-35
 - 説明 13-33
 - トラブルシューティング 13-37
- ダイナミック ルーティング 35-4
- タイム ゾーン 7-13

- ダウンロード
 - イメージファイル
 - CMS の使用 1-3
 - FTP の使用 B-28
 - HTTP の使用 1-3, B-21
 - RCP の使用 B-33
 - TFTP の使用 B-24
 - 準備 B-23, B-27, B-32
 - デバイス マネージャまたは Network Assistant の使用 B-21
 - 古いイメージの削除 B-25
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - タグ付けされたパケット
 - IEEE 802.1Q 17-4
 - レイヤ 2 プロトコル 17-9
 - 単一方向リンク検出プロトコル
 - UDLD を参照
 - 端末回線、パスワードの設定 9-7
- ち
- 注意、説明 xlii
- つ
- ツイストペア イーサネット、単一方向リンク検出 27-2
- て
- ディスカバリ、クラスタ
 - 自動検出を参照
 - ディスタンス ベクタ プロトコル 35-4
 - ディレクトリ
 - 作業ディレクトリの表示 B-4
 - 作成および削除 B-4
 - 変更 B-4
 - デスクトップ テンプレート 5-10, 8-2
 - デバイス ディスカバリ プロトコル 26-2
 - デバイス マネージャ
 - スイッチのアップグレード B-21
 - 説明 1-3, 1-5
 - 帯域内管理 1-6
 - 要件 xliii
 - 利点 1-3
 - デバッグ
 - エラー メッセージ出力のリダイレクト 43-26
 - コマンドの使用 43-25
 - 全システム診断のイネーブル化 43-26
 - 特定の機能に関するイネーブル化 43-25
 - デフォルト ゲートウェイ 3-11, 35-14
 - デフォルト ネットワーク 35-81
 - デフォルト ルーティング 35-3
 - デフォルト ルート 35-81
 - デフォルト 設定
 - 802.1x 10-16
 - BGP 35-47
 - CDP 26-3
 - DHCP 22-9
 - DHCP Option 82 22-9
 - DHCP スヌーピング 22-9
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-9
 - DNS 7-17
 - EIGRP 35-39
 - EtherChannel 34-12
 - Flex Link 21-5
 - HSRP 39-5
 - IEEE 802.1Q トンネリング 17-5
 - IGMP 40-30
 - IGMP スヌーピング 24-8, 37-6, 37-7
 - IGMP スロットリング 24-29
 - IGMP フィルタリング 24-29
 - IP アドレス、IP ルーティング 35-7
 - IP ソース ガード 22-19
 - IP マルチキャスト ルーティング 40-10
 - IPv6 36-11
 - MAC アドレス テーブル 7-22
 - MAC アドレス テーブル 移動更新 21-5
 - MSDP 41-4
 - MSTP 19-17
 - MVR 24-23
 - NTP 7-5
 - OSPF 35-29
 - PIM 40-10

- RADIUS 9-22
 - RIP 35-22
 - RMON 29-3
 - RSPAN 28-11
 - SDM テンプレート 8-6
 - SNMP 31-7
 - SPAN 28-11
 - SSL 9-46
 - STP 18-14
 - TACACS+ 9-14
 - UDLD 27-5
 - VLAN 13-9
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 13-23
 - VMPS 13-33
 - VTP 14-8
 - イーサネット インターフェイス 11-17
 - オプションのスパニングツリーの設定 20-13
 - 音声 VLAN 15-4
 - 起動 3-13
 - システム メッセージのロギング 30-4
 - システム名およびプロンプト 7-16
 - 自動 QoS 33-21
 - スイッチ スタック 5-21
 - スイッチの初期情報 3-4
 - 代替ブリッジング 42-4
 - ダイナミック ARP 検査 23-6
 - パスワードおよび権限レベル 9-3
 - バナー 7-19
 - 標準 QoS 33-31
 - プライベート VLAN 16-7
 - マルチ VRF CE 35-69
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-13
 - レイヤ 2 インターフェイス 11-17
 - デュアル IPv4/IPv6 SDM テンプレート 8-3, 36-1, 36-9
 - デュアルプロトコル スタック
 - IPv4 および IPv6 36-9
 - SDM テンプレートのサポート 36-9
 - 設定 36-14
 - 転送遅延時間
 - MSTP 19-26
 - STP 18-24
 - テンプレート、SDM 8-2
- と
- 等価コスト ルーティング 1-10, 35-79
 - 同期化、BGP 35-49
 - 統計情報
 - 802.1x 10-32
 - CDP 26-6
 - IP マルチキャスト ルーティング 40-55
 - OSPF 35-37
 - QoS 入力および出力 33-80
 - RMON グループ イーサネット 29-5
 - RMON グループ履歴 29-4
 - SNMP 入出力 31-18
 - VTP 14-17
 - インターフェイス 11-31
 - トークンリング VLAN
 - VTP のサポート 14-5
 - サポート 13-7
 - ドメイン ネーム システム
 - DNS を参照
 - ドメイン名
 - DNS 7-17
 - VTP 14-9
 - トラップ
 - MAC アドレス通知の設定 7-23
 - イネーブル化 7-23, 31-12
 - 概要 31-2, 31-5
 - 通知タイプ 31-12
 - 定義 31-4
 - マネージャの設定 31-12
 - トラップドア メカニズム 3-2
 - トラフィック
 - フラッドイングのブロック 25-8
 - 分割 32-6
 - 分割された IPv6 38-2
 - 分割されていない 32-6
 - トラフィックのポリシング 1-9
 - トラフィックの優先処理
 - QoS を参照
 - トラフィック抑制 25-2
 - トラブルシューティング
 - CiscoWorks 31-5
 - debug コマンド 43-25
 - PIMv1 および PIMv2 のインターオペラビリティに関する問題 40-25
 - ping の使用 43-18
 - SFP のセキュリティと識別 43-17

- show forward コマンド 43-27
 - traceroute 43-22
 - クラッシュ情報の表示 43-30
 - システム メッセージのロギング 30-2
 - 接続に関する問題 43-18, 43-20, 43-22
 - 単一方向リンクの検出 27-1
 - パケット転送の設定 43-27
 - トランキング カプセル化 1-7
 - トランク
 - DTP をサポートしないデバイス 13-21
 - ISL 13-20
 - 許可 VLAN リスト 13-25
 - 設定 13-24, 13-29, 13-31
 - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 13-27
 - パラレル 13-30
 - 負荷分散
 - STP パス コストの設定 13-30
 - STP ポート プライオリティの使用 13-28, 13-29
 - プルーニング適格リスト 13-26
 - トランク ポート
 - カプセル化 13-24, 13-29, 13-31
 - 設定 13-24
 - 定義 11-4, 13-4
 - トランスペアレント モード、VTP 14-4, 14-13
 - トンネリング
 - IEEE 802.1Q 17-2
 - 定義 17-1
 - レイヤ 2 プロトコル 17-9
 - トンネル ポート
 - IEEE 802.1Q、設定 17-8
 - 説明 11-4, 17-2
 - 定義 13-5
 - 他の機能との非互換性 17-7
- な**
- 内部ネイバ、BGP 35-49
 - 夏時間 7-14
 - 名前指定の IPv4 ACL 32-16
- に**
- 二重タグ付きパケット
 - IEEE 802.1Q トンネリング 17-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-12
 - 認識されない Type-Length-Value (TLV) のサポート 14-5
 - 認証
 - AAA でのローカル モード 9-38
 - EIGRP 35-43
 - HSRP 39-10
 - NTP アソシエーション 7-6
 - RADIUS
 - 鍵 9-22
 - ログイン 9-24
 - TACACS+
 - 鍵 9-14
 - 定義 9-12
 - ログイン 9-15
 - ポートベースの認証を参照
 - 認証鍵、ルーティング プロトコル 35-91
 - 認証失敗した VLAN
 - 制限付き VLAN を参照
- ね**
- ネイティブ VLAN
 - IEEE 802.1Q トンネリング 17-5
 - 設定 13-27
 - デフォルト 13-27
 - ネイバ、BGP 35-60
 - ネットワーク管理
 - CDP 26-2
 - RMON 29-1
 - SNMP 31-1
 - ネットワーク構成例
 - 高性能配線クローゼット 1-17
 - コスト効率の高い配線クローゼット 1-16
 - サーバ集約と Linux サーバクラスター 1-18
 - 集合住宅ネットワーク 1-22
 - 冗長ギガビット バックボーン 1-18
 - 大規模ネットワーク 1-21
 - 中小規模のネットワーク 1-20
 - 長距離、広帯域幅伝送 1-24
 - ネットワーク サービス提供 1-15
 - ネットワーク パフォーマンスの向上 1-15
 - ネットワーク構成、例 1-15
 - ネットワーク設計
 - サービス 1-15
 - パフォーマンス 1-15

- は
- バージョン依存型トランスペアレント モード 14-5
 - バージョン不一致 (VM) モード
 - auto-upgrade による自動的なアップグレード 5-12
 - 自動アドバイスによる手動アップグレード 5-13
 - 説明 5-12
 - 表示 5-12
 - ハードウェア制限とレイヤ 3 インターフェイス 11-27
 - バインディング
 - DHCP スヌーピング データベース 22-6
 - IP ソース ガード 22-17
 - アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 22-6
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - アドレス、DHCP サーバ
 - DHCP、Cisco IOS サーバ データベースを参照
 - バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - パケットのブロック 25-8
 - パケットの変更、QoS による 33-20
 - パス MTU 検出 36-4
 - パス コスト
 - MSTP 19-23
 - STP 18-21
 - パスワード
 - VTP ドメイン 14-10
 - 暗号化 9-4
 - 回復 43-4
 - 回復のディセーブル化 9-6
 - 概要 9-2
 - クラスタ内 6-15
 - セキュリティ 1-8
 - 設定
 - Telnet 9-7
 - イネーブル 9-3
 - イネーブル シークレット 9-4
 - ユーザ名 9-8
 - デフォルト設定 9-3
 - パスワードの暗号化 9-4
 - バックアップ インターフェイス
 - Flex Link を参照
 - バックアップ リンク 21-2
 - パッシブ インターフェイス
 - OSPF 35-34
 - 設定 35-89
 - バナー
 - 設定
 - MoTD ログイン 7-19
 - ログイン 7-20
 - デフォルト設定 7-19
 - 表示の時期 7-19
 - パフォーマンスの特長 1-4
 - パフォーマンス、ネットワーク設計 1-15
 - パラレルパス、ルーティング テーブル内 35-79
 - 範囲
 - インターフェイス 11-13
 - マクロ 11-14
- ひ
- 非 IP トラフィックのフィルタリング 32-29
 - ピア、BGP 35-60
 - 非階層型ポリシー マップ
 - 設定 33-48
 - 設定時の注意事項 33-33
 - 説明 33-9
 - 光ファイバ、単一方向リンク検出 27-2
 - ヒストリ
 - コマンドの呼び出し方法 2-7
 - 説明 2-6
 - ディセーブル化 2-7
 - バッファ サイズの変更 2-6
 - 非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング 17-5
 - 非トランッキング モード 13-21
 - 表記法
 - コマンド xlii
 - 書体 xlii
 - マニュアル xlii
 - 例 xlii
 - 表記法、マニュアル xlii
 - 表示
 - BGP 35-65
 - CDP 26-6
 - CEF 35-79
 - EIGRP 35-44

- Flex Link 21-9
 - HSRP 39-12
 - IEEE 802.1Q トンネリング 17-20
 - IGMP
 - スヌーピング 24-18, 37-13
 - フィルタ 24-33
 - IP
 - アドレス テーブル 35-20
 - マルチキャスト ルーティング 40-55
 - ルート 35-92
 - IPv4 ACL の設定 32-43
 - IPv6 36-24
 - IPv6 ACL 設定 38-9
 - MAC アドレステーブル移動更新 21-9
 - MSDP ピア 41-18
 - MVR 24-27
 - OSPF 35-37
 - RP マッピング情報 40-25
 - SA メッセージ 41-18
 - SFP ステータス 11-31, 43-17
 - VLAN 13-19
 - フィルタ 32-43
 - マップ 32-43
 - VMPS 13-36
 - VTP 14-17
 - アクセス グループ 32-43
 - インターフェイス 11-31
 - 機能 1-11
 - スイッチ間のトラフィック フロー 29-2
 - 速度およびデプレックス モード 11-20
 - 代替ブリッジング 42-12
 - 単一方向リンクのケーブル 27-2
 - トラフィック抑制 25-21
 - トンネリング 17-20
 - プライベート VLAN 16-16
 - プローブによる分析用ネットワーク トラフィック 28-2
 - ポート
 - ブロッキング 25-21
 - 保護 25-21
 - マルチ VRF CE 35-77
 - マルチキャストルータ インターフェイス 24-18, 37-13
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 17-20
 - 標準範囲 VLAN 13-6
 - 設定 13-6
 - 設定時の注意事項 13-7
 - 設定モード 13-8
 - 定義 13-1
- ふ**
- ファイル
 - tar
 - イメージ ファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-8
 - 内容の表示 B-7
 - 拡張 crashinfo
 - 説明 43-30
 - 保存場所 43-30
 - 基本 crashinfo
 - 説明 43-30
 - 保存場所 43-30
 - クラッシュ情報
 - 説明 43-30
 - コピー B-5
 - 削除 B-6
 - 内容の表示 B-8
 - ファイル システム
 - 使用可能なファイル システムの表示 B-2
 - デフォルトの設定 B-3
 - ネットワーク ファイル システム名 B-5
 - ファイル情報の表示 B-3
 - ローカル ファイル システム名 B-2
 - 不一致、自動ネゴシエーション 43-15
 - フィルタリング
 - IPv6 トラフィック 38-4, 38-7
 - show および more コマンドの出力 2-10
 - VLAN 内 32-31
 - 非 IP トラフィック 32-29
 - フィルタ、IP
 - ACL、IP を参照
 - ブート ロード
 - アクセス方法 3-16
 - 環境変数 3-16
 - 説明 3-2
 - トラップドア メカニズム 3-2
 - プロンプト 3-16
 - ブートストラップルータ (BSR)、説明 40-6
 - フェールオーバーのサポート 1-6
 - 負荷分散 39-4
 - 不正アクセスの防止 9-2

- 物理ポート 11-3
- 不適合パケットのマークダウン 1-9
- プライオリティ
 - CoS の信頼 15-7
 - CoS の無効化 15-7
 - HSRP 39-7
- プライベート VLAN
 - IP アドレス 16-4
 - SDM テンプレート 16-5
 - SVI 16-6
 - エンドステーションへのアクセス 16-3
 - 隔離 VLAN 16-2, 16-3
 - 隔離ポート 16-3
 - コミュニティ VLAN 16-2, 16-3
 - コミュニティポート 16-3
 - 混合ポート 16-3
 - サブドメイン 16-2
 - スイッチスタック 16-6
 - セカンダリ VLAN 16-2
 - 設定 16-11
 - 設定作業 16-7
 - 設定時の注意事項 16-8, 16-9
 - デフォルト設定 16-7
 - トラフィック 16-5
 - 表示 16-16
 - 複数のスイッチにまたがる 16-4
 - プライマリ VLAN 16-2, 16-3
 - ポート
 - 隔離 16-3
 - コミュニティ 16-3
 - 混合 16-3
 - 混合ポートの設定 16-13
 - 設定時の注意事項 16-9
 - 説明 13-5
 - ホストポートの設定 16-12
 - マッピング 16-14
 - 利点 16-2
- プライベート VLAN エッジポート
 - 保護ポートを参照
- プライマリ VLAN 16-2, 16-3
- プライマリリンク 21-2
- フラッシュデバイス、番号 B-2
- フラッドイングトラフィック、ブロック 25-8
- ブリッジグループ
 - 代替ブリッジングを参照
- ブリッジプロトコルデータユニット
 - BPDU を参照
- ブリッジドパケット、ACL 上 32-41
- プルーニング適格リスト
 - VLAN 14-16
 - VTP プルーニング 14-6
 - 変更 13-26
- プルーニング、VTP
 - イネーブル化
 - VTP ドメイン 14-15
 - ポート上 13-26
 - 概要 14-5
 - 設定例 14-6
 - ディセーブル化
 - VTP ドメイン 14-15
 - ポート上 13-27
- プレフィクスリスト、BGP 35-57
- フロー制御
 - 設定 11-21
 - 説明 11-21
- フローチャート
 - QoS 出力のキューイングおよびスケジューリング 33-17
 - QoS 入力 of キューイングおよびスケジューリング 33-15
 - QoS のポリシングおよびマーキング 33-10
 - QoS 分類 33-6
- ブロードキャストストーム 25-2, 35-16
- ブロードキャストパケット
 - 指定 35-16
 - フラッドイング 35-16
- ブロードキャストフラッドイング 35-19
- フローベースのパケット分類 1-9
- プロキシ ARP
 - IP ルーティングがディセーブルの場合 35-13
 - 設定 35-13
 - 定義 35-11
- プロトコル依存モジュール、EIGRP 35-39
- 分析用トラフィックのミラーリング 28-2
- へ
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
- 編集機能
 - イネーブル化またはディセーブル化 2-8
 - 折り返し機能 2-10

- 使用されるキーストローク 2-8
- ほ
- ポート
- 10 ギガビット イーサネット モジュール 11-7
 - IEEE 802.1Q トンネル 13-5
 - VLAN 割り当て 13-13
 - アクセス 11-3
 - スイッチ 11-3
 - スタティック アクセス 13-4, 13-13
 - セキュア 25-10
 - ダイナミック アクセス 13-4
 - トランク 13-4, 13-20
 - ブロッキング 25-8
 - 保護 25-7
 - ルーテッド 11-5
- ポート ACL
- タイプ 32-3
 - 定義 32-2
- ポート シャットダウンの応答、VMPS 13-32
- ポート セキュリティ
- QoS の信頼境界 33-38
 - 違反 25-11
 - エージング 25-19
 - 固定学習 25-11
 - スタック 25-20
 - 設定 25-14
 - 説明 25-10
 - デフォルト設定 25-12
 - トランク ポート 25-15
 - 表示 25-21
 - 他の機能との互換性 25-12
- ポート チャネル
- EtherChannel を参照
- ポート プライオリティ
- MSTP 19-22
 - STP 18-20
- ポート ブロッキング 1-4, 25-8
- ポート メンバーシップ モード、VLAN 13-4
- ポート 信頼状態
- IP Phone のポート セキュリティの確保 33-38
 - QoS ドメイン間 33-40
 - QoS ドメイン内 33-36
 - サポート 1-9
 - 分類オプション 33-5
- ポートベースの認証
- EAP 応答 / アイデンティティ フレーム 10-3
 - EAP 要求 / アイデンティティ フレーム 10-3
 - EAPOL 開始フレーム 10-3
 - VLAN 割り当て
 - AAA 許可 10-19
 - 設定作業 10-10
 - 説明 10-9
 - 特性 10-9
 - Wake-on-LAN、説明 10-13
 - アカウントिंग 10-5
 - アクセス不能認証バイパス
 - 設定 10-30
 - 説明 10-12
 - 注意事項 10-18
 - 音声 VLAN
 - PVID 10-8
 - VVID 10-8
 - 説明 10-8
 - 開始とメッセージ交換 10-3
 - カプセル化 10-3
 - 旧リリースからのアップグレード 10-19, 33-26
 - クライアント、定義 10-3
 - ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 10-10, 10-11
 - 説明 10-10
 - スイッチ
 - RADIUS クライアント 10-3
 - プロキシ 10-3
 - スタックの変更、作用 10-15
 - 設定
 - 802.1x 認証 10-19
 - RADIUS サーバ 10-21
 - アクセス不能認証バイパス 10-30
 - ゲスト VLAN 10-26
 - 手動によるクライアントの再認証 10-23
 - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 10-20
 - スイッチとクライアント間の再送信時間 10-24
 - スイッチとクライアント間のフレーム再送信回数 10-25
 - 制限付き VLAN 10-28
 - 待機時間 10-23
 - 定期的な再認証 10-22
 - ホスト モード 10-26
 - 設定時の注意事項 10-17

- 説明 10-2
 - デバイスの役割 10-2
 - デフォルト設定 10-16
 - デフォルト値へのリセット 10-30
 - 統計情報の表示 10-32
 - 認証サーバ
 - RADIUS サーバ 10-3
 - 定義 10-3
 - 表示、統計情報 10-32
 - 複数ホスト モード、説明 10-7
 - 方式リスト 10-19
 - ポート
 - 音声 VLAN 10-8
 - 許可および無許可 10-4
 - 許可ステートと `dot1x port-control` コマンド 10-5
 - クリティカル 10-12
 - ポートセキュリティ
 - 音声 VLAN 10-8
 - 説明 10-7
 - 相互作用 10-7
 - 複数ホスト モード 10-7
 - ホスト モード 10-7
 - マジック パケット 10-13
 - ユーザ単位の ACL
 - AAA 認証 10-19
 - RADIUS サーバアトリビュート 10-14
 - 設定作業 10-14
 - 説明 10-13
 - 保護ポート 1-8, 25-7
 - 補助 VLAN
 - 音声 VLAN を参照
 - ホスト ポート
 - 種類 16-3
 - 設定 16-12
 - ホスト名
 - クラスタ内 6-14
 - ホスト、ダイナミックポートの上限 13-37
 - ポリサー
 - 個数 33-34
 - 設定
 - 一致した各トラフィック クラス 33-48
 - 複数のトラフィック クラス 33-59
 - 説明 33-4
 - タイプ 33-9
 - 表示 33-80
 - ポリシーベース ルーティング
 - PBR の高速スイッチング 35-88
 - イネーブル化 35-87
 - 定義 35-85
 - ローカル PBR 35-88
 - ポリシング
 - 階層型
 - 階層型ポリシー マップを参照
 - 説明 33-4
 - トークンバケット アルゴリズム 33-9
- ## ま
- マーキング
 - 集約ポリサーのアクション 33-59
 - 説明 33-4, 33-8
 - ポリシー マップのアクション 33-48
 - マクロ
 - SmartPort マクロを参照
 - マジック パケット 10-13
 - マニュアル
 - 対象読者 xli
 - 目的 xli
 - マルチ VRF CE
 - サポート 1-10
 - 設定 35-69
 - 設定時の注意事項 35-69
 - 設定例 35-73
 - 定義 35-67
 - デフォルト設定 35-69
 - ネットワーク コンポーネント 35-69
 - パケット転送処理 35-69
 - 表示 35-77
 - マルチキャスト TV アプリケーション 24-21
 - マルチキャスト VLAN 24-20
 - マルチキャスト グループ
 - 加入 24-3
 - スタティックな加入 24-11, 37-8
 - 即時脱退 24-5
 - 脱退 24-5
 - マルチキャスト ストーム 25-2
 - マルチキャスト パケット
 - ACL 上 32-42
 - ブロッキング 25-8
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス、情報表示 24-18, 37-13

マルチキャスト ルータ ポート、追加 24-10, 37-9

む

矛盾、設定 43-15

め

メッセージ

バナーを使用してユーザに送信 7-19

メッセージ、バナーを使用してユーザに送信 7-19

メトリック変換、ルーティングプロトコル間 35-85

メトリック、BGP 内 35-54

メトロ タグ 17-3

メンバー スイッチ

管理 6-18

候補スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、スタンバイ コマンド スイッチも参照

自動検出 6-5

接続の回復 43-15

定義 6-2

パスワード 6-14

要件 6-4

メンバーシップ モード、VLAN ポート 13-4

も

モジュール番号 11-11

ゆ

有効期間、短縮 18-10

ユーザ EXEC モード 2-2

ユーザ名ベースの認証 9-8

ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-6

CPU パケット 7-26

スタティック アドレスの追加 7-26

設定時の注意事項 7-26

説明 7-26

ブロードキャスト MAC アドレス 7-26

マルチキャスト アドレス 7-26

ルータ MAC アドレス 7-26

ユニキャスト ストーム 25-2

ユニキャスト トラフィック、ブロック 25-8

ユニキャスト 要求転送 1-6

よ

要件

Network Assistant xliii

クラスタ xliii

デバイス マネージャ xliii

ら

ライン コンフィギュレーション モード 2-3

り

リセット、BGP 内 35-52

履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと数 30-11

リンク ステート プロトコル 35-4

リンク 障害

単一方向の検出 19-8

リンク 冗長

Flex Link を参照

リンク ローカル ユニキャスト アドレス 36-4

リンク、単一方向 27-2

隣接テーブル、CEF 35-78

る

ルータ ACL

タイプ 32-5

定義 32-2

ルータ ID、OSPF 35-36

ルーティング

情報の再配信 35-82

スタティック 35-4

ダイナミック 35-4

デフォルト 35-3

ルーティング ドメイン 連合、BGP 35-62

ルーティング プロトコルの管理距離 35-80

ルーティングできないプロトコルのトラフィックの転送 42-1

ルーテッド パケット、ACL 上 32-41

ルーテッド ポート

IP アドレス 11-27, 35-6

スイッチ クラスタ内 6-9

設定 35-6

定義 11-5

- ルートガード
 - イネーブル化 20-19
 - サポート 1-7
 - 説明 20-11
 - ルート サマライズ、OSPF 35-34
 - ルート スイッチ
 - MSTP 19-20
 - STP 18-17
 - ルート ターゲット、VPN 35-69
 - ルート ダンピング化、BGP 35-64
 - ルート マップ
 - BGP 35-55
 - PBR 35-85
 - ルート リフレクタ、BGP 35-63
 - ルート 計算タイマー、OSPF 35-34
 - ルート 選択、BGP 35-53
 - ループ ガード
 - イネーブル化 20-20
 - サポート 1-7
 - 説明 20-12
- れ
- レイヤ 2 traceroute
 - ARP 43-20
 - CDP 43-20
 - IP アドレスおよびサブネット 43-20
 - MAC アドレスおよび VLAN 43-20
 - 使用上の注意事項 43-20
 - 説明 43-20
 - ブロードキャストトラフィック 43-20
 - ポートに複数のデバイス 43-21
 - マルチキャストトラフィック 43-20
 - ユニキャストトラフィック 43-20
 - レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 11-17
 - レイヤ 2 フレーム、CoS による分類 33-2
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング
 - EtherChannel への設定 17-16
 - 設定 17-12
 - 注意事項 17-13
 - 定義 17-9
 - デフォルト設定 17-13
 - レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウン スレッ
シュホールド 17-13
 - レイヤ 2 プロトコル パケットの廃棄スレッシュホー
ルド 17-13
 - レイヤ 3 インターフェイス
 - IP アドレスの割り当て 35-8
 - IPv4 および IPv6 アドレスの割り当て 36-14
 - IPv6 アドレスの割り当て 36-12
 - タイプ 35-6
 - レイヤ 2 モードからの変更 35-8
 - レイヤ 3 機能 1-10
 - レイヤ 3 パケット、分類方法 33-2
 - レポート抑制、IGMP
 - 説明 24-6
 - ディセーブル化 24-17, 37-12
- ろ
- ローカル SPAN 28-2
 - ログ メッセージ
 - システム メッセージ ロギングを参照
 - ログ メッセージのシーケンス番号 30-9
 - ログ メッセージのタイム スタンプ 30-8
 - ログ メッセージ、ACL 32-9
 - ログイン バナー 7-19
 - ログイン 認証
 - RADIUS による 9-24
 - TACACS+ による 9-15